KDDI IoT クラウド Standard ご利用ガイド (for DMA-T2K)

Rev1.02(2016年11月版)

「KDDI M2M クラウドサービス Standard プラン」は、 2016 年 10 月 26 日より「KDDI IoT クラウド Standard」に名称変更されました。



目	次		
1	は	じめに	1
2	Io	T クラウド Standard の特長	1
3	Io	oT クラウド Standard ご利用開始時の初期設定	2
	3.1	データリンク情報の設定	5
	3.2	仮想データ項目の設定	9
	3.3	画面表示設定	11
	3.4	アラート(警戒線)設定	14
	3.4.	.1 警戒レベルの設定 (警戒線)	14
	3.4	.2 警戒レベル発生時の通知内容設定 (警戒線イベント)	15
	3.4	.3 お客様環境へ通知されるメールの例	17
	3.5	メッセージイベント設定	
	3.5.	.1 DMA-T2K から upload する警報番号	
	3.5.	.2 メッセージイベントの設定	
	3.5.	.3 お客様環境へ通知されるメールの例	
	3.6	ユーザアカウントの設定	
	3.6.	.1 ユーザアカウント情報の確認・編集	23
	3.6.	.2 ユーザアカウントの追加	25
	3.7	端末情報・端末グループの編集	
	3.7	.1 端末情報の確認・編集	
	3.7.	.2 端末グループ情報の追加・編集	
4	Ŧ	ニタリング用画面(サマリー画面)	
	4.1	補足説明	31
5	履]歴情報の確認	
	5.1	記録データ	
	5.1	.1 記録データのリスト表示	
	5.1	.2 記録データのグラフ表示	
	5.1	.3 CSV ファイルのダウンロードと、ファイル内容の形式	
	5.1	.4 記録データの削除と、削除後の表示内容	
	5.1	.5 CSV インポート機能と、データの形式	
	5.2	メッセージイベントの履歴	
6	帳	要出力	
	6.1	日報ファイルの出力	39
	6.1	.1 編集済みテンプレートに基づく日報ファイルの出力	
	6.1	.2 日報テンプレートの新規設定	
	6.2	月報ファイルの出力	43

•	42.111.15		10
7	改訂履		46
	0.2.2		ч 0
	622	日報テンプレートの新相設定	45
	6.2.1	編集済みテンノレートに基つく月報ノアイルの出力	43
	0.0.1	結告されているとしたせぶとりおう。とこの出土	10

1 はじめに

本書は、KDDI株式会社様が運営されている「IoT クラウド Standard」のご利用方法を説明したものです。 当社の「DMA-T2K」(型番: JK-3705)装置と組み合わせることで、短期間で簡単に IoT をご利用いただけます。

ご利用いただくにあたり、簡単な初期設定が必要になります。(組み合わせるDMA-T2K装置情報の割当 てやお客様環境にアラート情報を通知させる際の設定を行います。)

設定方法と、運用開始後のIoT クラウド Standardの利用の仕方について説明した内容となっていますので、 お客様においてIoT クラウド Standardを効果的にご利用いただけますよう、本書をよくお読みください。

なお、KDDIの IoT ソリューション(クラウド)には幾つかのサービス形態があり、「IoT クラウド Standard」の 他に、「KDDI M2M クラウドサービス Entry プラン」との組み合わせでDMA-T2Kをご利用いただくこともでき ます。ご利用いただくサービスの種類は、KDDI 株式会社へのお申込みの時点で選択いただけます。

2 IoT クラウド Standardの特長

- インターネットを介して監視端末がアクセスする KDDIの IoT 用クラウドサービスです。
- お客様環境からは、インターネット(ブラウザ)を介して監視先の「AI」「DI」「PI」「停電」情報をいつでも 自由にモニタすることができます。
 (DMA-T2Kに設定いただいた発信条件ごとに、計測データおよび警報データが upload されます。)
 (「AI」「DI」「PI」「停電」情報については「3.1 (4)」項を参照。警報データについては「3.5」項を参照。)
- 監視端末から upload されたデータを工業値に変換して扱うことができます。
- 監視端末から upload されたデータ(数値)を基に、仮想的なデータを別途扱うことができます。
 (「任意のテキスト文字に置き換え」「データの差分計算」「正時タイミングのデータ積算」「平均/最大/ 最小/積算/中央値の計算」「データレンジフィルター(2 段階の上下限値を超える場合の値調整)」などを扱えます。)
- データを蓄積していますので、最新値だけでなく変化の履歴(グラフ表示)や警報の履歴も確認できます。
- イベント通知条件を設定いただくことで、お客様宛てにメールによる通知を行わせることができます。
 (※AI/PI=指定値到達や DI 変化、停電発生などの情報を通知できます。(「3.4」「3.5」項参照))
- 蓄積データを CSV ファイルとして PC に保存することができます。
 また、帳票データ(日報・月報)を Excel ファイルとして PC に保存することもできます。
- ※機能改善・拡張のため、「画面操作方法などが一部変更」や「機能追加(設定項目の追加を含む)」とな る場合があります。あらかじめご了承ください。

3 IoT クラウド Standard ご利用開始時の初期設定

「KDDI IoT クラウド Standard 契約申込書(新規)」によるお申し込み手続き完了後、IoT クラウド Standard 画面にログインするための「ユーザ ID」「パスワード」情報が KDDI 株式会社から発行されます。

- ブラウザで下記のホームページ(URL)を開きます。
 https://login.m2m-cloud-std.kddi.ne.jp/
- (2) 次のログイン画面が表示されます。発行されたユーザ ID とパスワードでログインしてください。

KDDI IoTクラウド Standard	
ユーザID	
パスワード	ユーサ ID 2ハスワードを 入力し、「ログイン」ボタン をクリックします。
■ 次回から自動的にログインする	
ログイン	
パスワードを忘れた場合は <mark>ごちら</mark> から手続きを行なってください。	

【 <u>アカウント(権限)の</u>)種類について】					
アカウント(権限)には	は以下の2種類があります。					
(契約時に発行される	るのは「ユーザ管理者」権限のアカウントです	· 。)				
アカウントの種類	可能な内容	備考				
ユーザ管理者	「ユーザアカウント追加」「端末情報編集」 「端末グループ編集」「全端末の監視 データ閲覧(モニタリング)」などが可能	 「ユーザ」アカウント追加 は「3.6」項を参照 端末情報とグループの編 集は「3.7」項を参照 				
ユーザ	所属する端末グループに紐づく各端末の 監視データ閲覧(モニタリング)が可能	「ユーザ」アカウントはユーザ 管理者が発行(※毎月のアカ ウント費用が発生します。)				
※複数台の監視端末						
※監視データの閲覧	のみ可能となる権限を設ける場合は、「ユー	ザ」アカウントを作成します。				
(閲覧可能な端末会	(閲覧可能な端末グループを複数割当てできます。)					

(3) ログインしますと、下記の画面(PLATFORM 上のポータル画面)が表示されます。

Designing The Future KCDCCC ポータル	登録内容	端末グループ ユーザ LOGGER LIVE クリックします。	iER」を ◆●●● # ≔
重要なお知	らせ		
カテゴリ 重要	更新日	内容 サーバ緊急メンテナンスのお知らせ 000000000000000000000000000000000000	 ポータル画面では、 各種お知らせ情報を 表示します。
お知らせ・	更新情報		●「ユーッ」アカウンド の権限でログインし た場合「巻録内容」
カテゴリ	更新日	内容	
お知らせ	2016/0/0	ご利用のお客様へ ・000000000000000000000000000000000000	「ユーザ」タブは表示 されません。
更新	2016/0/0	システムアップデートのお知らせ ・ 000003追加 ・ 000003追加 ・ 000003追加	

(4)「LOGGER」タブの部分をクリックしますと、下記の画面(LOGGER 画面)が表示されます。

Designing The Future	登録内容	端末グループ	ユーザ	LOGGER	LIVE			よ ●●● 様	E
					検索	すべての状態 💌	すべての項目 🔻 から		٩
アプリ	端末ID · 端末名称	Ŧ	<u>端末/</u>	<u>ガループ</u> ・		<u>状態</u> -	登録日_ ▼	利用開始日	詳細
~	DMA-T2k	c	/端末	グループ1		🕑 利用中	2016/09/20	2016/09/20	⊘
		端末名称」	「端末グ」	レープ」内容	容は 例 で	す。 			

「アプリ」アイコンをクリックしますと、ロガーアプリケーションが起動します。

アプリ	- - ロガーアプリケーション上で、 - - 「冬麺設定」「データのモニタ」」
	などが行えます。

ロガーアプリケーション起動後、以下の構成の画面が表示されます。

	Designing The Future							≵ ●●● ∉ ≔
1		サマリー	記録データ	メッセージ	設定	端末一覧	レポート	
ť	マリー рма-т	2 K						🌼 表示動作変更
	該当期間のデータ	タはありません。						

Designing The Future ぜマリー	記録データ メッセージ	設定 端末一覧 レ7	≵ ●●● 様 ポート	∷⊟
設定 DMA-T2K				
画面表示設定	サイト設定	警戒レベル設定	警戒線イベント設定	
サマリー画面などで表示されるグラフデータのカラー や項目の表示/非表示を切り替えます。	メールの送信元アドレスを 設定します。	端末の入力インターフェー ス毎の奮減レベルを設定し ます。	警戒レベルの超過(または レベル超過解除)毎にメー ル送信などのイベントを設 定します。	
メッセージイベント設定	仮想データ項目設定	データリンク設定		
イベント発生時に送信され るメールのメッセージを編 集します。最大64パターン まで設定ができます。	端末から受信したデータに 対し各種演算を行い、デー タを拡張することが出来ま す。	データ送信端末のネット ワーク設定、認証情報の設 定、シフト値・重み値の設 定を行います。		

「設定」タブをクリックしますと、設定項目(分類)の一覧が表示されます。

以降、ロガーアプリケーション上での設定内容について説明します。

設定内容	説明項	設定内容	説明項
データリンク設定	3.1	警戒線(アラート)設定	3.4
仮想データ項目設定	3.2	メッセージイベント設定	3.5
画面表示設定	3.3		

※監視データとして閲覧できる内容については、別項で説明します。

タブ	閲覧内容	説明項
サマリー	最新の計測データ(グラフと最新値)	4
記録データ	任意期間の計測データ	5.1
メッセージ	端末から upload した警報データの履歴	5.2
レポート	帳票ファイルの出力操作(日報/月報)	6

3.1 データリンク情報の設定

「データリンク設定」をクリックします。

データリンク設定
データ送信端末のネット ワーク設定、認証情報の設 定、シフト値・重み値の設 定を行います。

以下の構成の画面が表示されます。

Designing The Future										●●●様	∷
	サマリー	記録データ	メッセージ	設定	端末	- 92	レポート				
データリンク設定	E DMA-T2K										
画面表示設定	サイト設定	警戒線	警戒線イベント	メッセージ	イベント	仮想テ	"一夕項目	データリンク	設定		
データリンク端末基	基本情報										
端末種別		データリンクロ	ガー								
端末名称		DMA-T2K									
端末ID											
端末管理ID											
変更データ取込	、状態										
データ取込状態		取込中									
変更 データリン	/ク端末設定ファ	ァイル (※ 端末	設定ファイルは、デー	-タリンク設定	を登録した後	に入力可能	能になります。)			
受け渡し方法		なし									
変更データ受信	設定										
通信方法		SMTPで端末か	らサーバへ送信する								
サーバアドレス		datalink.m2m	-cloud-std.kddi.ne.j	p							
認証方法		PLAIN/LOGIN	(暗号化なし)								
認証用ユーザID											
認証用パスワード											
アクセス制限		アクセス制限な	U				_				
許可ドメイン名・IP	アドレス			この後	の手順	で、					
アップロードディレ	クトリ		/	左記の	「変更」	ホタン ≠	/				
端木指定ID				8995	クしま	•					
変更データ解析	設定				17						
データ解析方法	/	標準CSVフォー	マット			左記	3箇所(D設定用「	変更」オ	「タンの作	すれた
解析オプションデー	3					をクレ	シクしま	すと、該当	する3	箇所の討 -	と定た
						主てi ●「-	隔集でき デニタ系	る状態に7 信設史」	よります	0	
変更 †測データ	7の計算設定 ()	※仮想データ項目	はここでは表示してい	いません)	ĺ	• Г-	, う文 データ解	お設定し			
取り込みカラム数						• []	, 計測デー		設定」		

(1)「データ受信設定」の「変更」ボタンをクリックし、

DMA-T2Kから upload	する計測デ	ータの取り込み	条件を設定します	0
------------------	-------	---------	----------	---

データ受信設定 端末からのデータを受信するための基 設定内容の詳細については <u>ヘルプ</u> 、お	体設定です。全データ種別に対して設定が必要で よび通信仕様書を参照してください。	す。 「SMTP で端末からサーバ へ送信する」を選択します。
通信方法	SMTPで端末からサーバへ送信する	
サーバアドレス	datalink.m2m-cloud-std.kddi.ne.jp	
認証方法	サーバへのデータ送信に対して、認証によるア PLAIN/LOGIN(暗号化なし)	ウセス制限をかけたい場合に利用してください。
認証用ユーザID 認証用パスワード 参加		任意の「認証用パスワード」を設定します。 (※半角英数字で設定し、ハイフンなどの記号
アクセス制限	サーバへのデータ送信に対して、送信元へのア アクセス制限なし	マクセス制限をかけたい場合に利用してください。
許可ホスト名・IPアドレス		
アップロードディレクトリ		

以下の内容を設定します。

No.	設定項目	設定(選択)する内容
1	通信方法	「 <mark>SMTP で端末からサーバへ送信する</mark> 」を選択します。
0	きません マロード	<mark>任意の文字列</mark> を設定します。
2	認証用ハスリート	(※認証用ユーザ ID は、表示されている固定文字列となります。)

※設定内容を登録する際は、(4)項の画面右下にある「登録」ボタンをクリックします。

【重要】

上記設定画面にある「サーバアドレス」「認証用ユーザ ID」「認証用パスワード」情報は、 DMA-T2Kに設定するパラメータ内容として使用します。

(※設定方法の詳細については、設定ソフト操作説明書(14011Z031)をご参照ください。)

(2)「データ解析設定」の「変更」ボタンをクリックし、



以下の内容を設定します。

No.	設定項目	設定(選択)する内容			
1	1 データ解析方法 「標準 CSV フォーマット」を選択します。				
		以下の文字列を設定します。(半角の固定文字列)			
2	解析オフションテータ	mailtype_data="upload_data";mailtype_alert="upload_alert";			

※設定内容を登録する際は、(4)項の画面右下にある「登録」ボタンをクリックします。

なお、解析オプションデータ欄に設定する内容(拡大表示)は次のとおりです。

mailtype_data="upload_data";mailtype_alert="upload_alert";

(3) 「計測データ計算設定」の「変更」ボタンをクリックし、

DMA-T2Kから upload する計測データの項目数を設定します。

計測データの計算設定(※仮想デー 計測データを受信する場合に必要な設定 設定内容の詳細については <u>ヘルプ</u> 、お。	-夕項目はここでは表; をです。 よび端末毎の通信仕様		「15」を設定し、 「この値を計算設定に反映する」		
取り込みカラム数	15	この値を計算設定に反映する]″	ボタンをクリックします。	
🔲 これまでの計測データをクリアする	j				1

以下の内容を設定します。

No.	設定項目	設定(選択)する内容
1	取り込みカラム数	 ●「15」を設定します。 (※DMA-T2Kから upload する「計測データ項目数=15 個」) ●「この値を計算設定に反映する」ボタンをクリックしますと、 次の(4)項にあるデータカラム(15 項目)の設定欄が表示されます。

※設定内容を登録する際は、(4)項の画面右下にある「登録」ボタンをクリックします。

※「これまでの計測データをクリアする」をチェックして設定内容を「登録」した場合、これまでに保存さ れている計測データが全てクリアされます。 (4) (3)項の「この値を計算設定に反映する」ボタン(※「取り込みカラム数」設定の横)をクリックしますと、 ボタンの下エリアに「15個」分の項目設定欄が表示されます。

端末ガ	送信する計測データ項目とアプリケーショ	ョン上で扱うデータ項目	との関連付け、お。	よび計算方法の	設定です。		削除ボタンを	有効にする
NO	割り当てデータカラム名	画面表示名称		単位	有効桁数	重み	シフト量	削除
0	AI1	雨量		mm	1	1		削除
1	AI2	気圧		hPa	1	1 I	頁目削除する	削除
2	AI3	温度		ి	1		右側の削除ボ	削除
3	AI4	湿度		%RH	1	1	ンを有効化) 	削除
4	power	通電情報		-	1	1	0	削除
5	DI1	DI1		-	1	1	0	削除
6	DI2	DI2		-	1	1	0	削除
7	DI3	DI3		-	1	1	0	削除
8	DI4	DI4		-	1	1	0	削除
9	DI5	DI5		-	1	1	0	削除
10	DI6	DI6		-	1	1	0	削除
11	DI7	DI7		-	1	1	0	間除
12	DI8	DIS		-	1	1	0	削除
13	DI9	DI9		-	1	1	0	削除
14	DI10	PI10		-	1	0.8	2	削除
			画面表表	示(名称	・単位)と			
	上記の文字列(固定) をカラム名に設定		工業値変 設定(※	変換条件 (上記は(·を任意に 例)	全ての	 の設定完了後にク	リック

各項目の「割り当てデータカラム名」には固定の文字列、その他は任意の内容を設定します。

「害	「割り当てデータカラム名」設定内容(固定文字列)						
No.	カラム名	No.	カラム名	No.	カラム名		
0	AI1	5	DI1	10	DI6		
1	AI2	6	DI2	11	DI7		
2	AI3	7	DI3	12	DI8		
3	AI4	8	DI4	13	DI9		
4	power	9	D15	14	DI10		

- ●「工業値」
 - =「DMA-T2Kからの upload 値」×「重み」 -「シフト量」
- ●「有効桁数」=工業値の小数点桁数 (※これ以下の桁は四捨五入して丸める) ([例] PI10=406.8=511×0.8-2)

※「AI1~AI4」は、アナログ入力 4ch 分を表しています。(DMA-T2Kから工業値を upload できます。) ※「DI1~DI10」は、接点(パルス)入力 10ch 分を表しています。(接点の場合、「0=OFF、1=ON」) (DMA-T2Kへのパラメータ設定によって、「接点⇔パルス」入力の何れを使用するか選択できます。) ※「power」は、DMA-T2Kの通電情報を表しています。(0=通電、1=停電)

(5) 全ての設定が完了した後、画面右下の「登録」ボタンをクリックします。(※設定内容が登録されます。)

(3)項にある「ロこれまでの計測データをクリアする」をチェックして「登録」しますと、これまでに保存 されている計測データを全てクリアし、新たに計測データの記録を開始します。 ※既存の計測データ項目から構成を変更する場合は、必ずチェックしてください。

3.2 仮想データ項目の設定

監視端末からは計測データ(数値)を upload します。(端末に設定された条件に基づいて upload します。) (DMA-T2Kからは、「AI:4ch」「DI(orPI):10ch」「通電情報」を upload します。「計 15 個」)

「接点入力の情報(0=OFF、1=ON)」「通電情報(0=通電、1=停電)」を数値のままで画面に現在値表示しても、分かり難い状態となります。

この場合、仮想データ項目の「テキスト変換」機能を利用することで、「ON」「OFF」などの文字に置き換えて画面表示させることができます。

(1)「設定」タブをクリックした画面内にある「仮想データ項目設定」をクリックします。

仮想データ項目設定	
端末から受信したデータに 対し各種演算を行い、デー タを拡張することが出来ま す。	

(2) プルダウンメニューから「テキスト変換」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

仮想データ項目。	设定 DMA-T2	к		
			①プルダウンボタンをクリ	Jック
画面表示設定	サイト設定	警戒線	し、「テキスト変換」を選択	5
項目を追加、又は新	編集する項目を選	択してください		②「追加」ボタン
NO 🗲	スト変換		名称	そうりゅう
<u>差分</u> 正時 移動 デー	計 :積算計)計(平均/最大/最/ ・タレンジフィルタ	」√積算/中央値) 一		

(3) テキスト文字に置き換える条件を設定します。

(下記は、DI情	報を「ON」「OFF	」表示させる場	合の例)				
仮想データ項目設定	:(テキスト変換) D	MA-T2K					
画面表示設定	サイト設定 警戒線	警戒線イベント	メッセージイベント	仮想データ項目	データリンク設定		
設定							
「テキスト変換」はある	項目の計測値を、設定した創	画毎に任意の文字列に置	■き換えて表示します。 設ま	定内容の詳細について(は <u>ヘルプ</u> を参照してく;	ださい。	
データ項目名 🙆 8	DI1	※最大20文字)	①仮想デ・	ータ項目とし	ての名称		
単位		(※最大10文字)	を任意に調	安定			
小数点桁数	0	- 2	対象データを、	データリンク語	設定画面(「3	.1 (4)」)	
対象データ項目	DI1	· ·	登録した項目の)中から選択			
	削除 1	以上 🔻 1	1 以下	▼ の場合 次の	值 🔻 ON		を出力する
テキスト変換内容 🏜	副除・	以上 🔻 (0 以下	▼ の場合 次の	值 🔽 OFF		を出力する
	注意为日		Ţ.	上記以外は 変換	10tau 🔻	 ④クリック 	
※この仮想データ項目は このため、「警戒線」 ※対象データが数値では	、画面表示の際に変換を行う や「仮想データ項目」の対象 なく文字列だった場合は、計)ため、計算したデータの データ項目としては、選 !算されません。	0保存を行いません。 観沢できません。			ン (設定内 容を保存 	<u>λ</u>
	③「数値→テキ を設定(「追加	スト文字」に置 リボタンで任意	き換える条件 個数登録可)	展る	削	除	登録

想データ項目設	定(テキスト変換)	DMA-T2K									
画面表示設定	サイト設定 警戒線	警戒線イベント	メッセージイベント	仮想データ項目	データリンク設定						
定											
テキスト変換」はあ	る項目の計測値を、設定した	範囲毎に任意の文字列に	き換えて表示します。設	定内容の詳細について	は <u>ヘルプ</u> を参照してください。						
データ項目名 🧧	◎ 瘤	(※最大20文字)	データリン	ック設定画面	(「3.1 (4)」)に						
単位		(** 最大10文字) おける「データカラム名=power」の項目									
小数点桁数	0			$\Gamma_1 = f$	亭電」「0=通電」の)状態を表す					
対象データ項目	通電情報										
	削除 1	以上 -	1 以下	- 🔻 の場合 次の	>値 ▼ 停電	を出力す					
テキスト変換内容 🥻	「調除」の	以上 -	o الإ	▼ の場合 次の	」 通電	を出力す					
	追加			上記以外は変換	負しない ▼						
この仮想データ項目 このため、「警戒線 対象データが数値で	は、画面表示の際に変換を行 !」や「仮想データ項目」の対 はなく文字列だった場合は、	うため、計算したデータの は象データ項目としては、激 計算されません。	D保存を行いません。 観沢できません。								
				, 戻る	削除	登録					

(下記は、通電情報を「停電」「通電」表示させる場合の例)

- ●「テキスト変換」の他に、「差分計」「正時積算計」「移動計(平均/最大/最小/積算/中央値)」「データレンジフィ ルター」を利用できます。
 (※詳細については、画面右上のお客様名称部分をクリックして表示されるリストの「ヘルプ」から閲覧できる
 「【端末管理者向け】LOGGER アプリケーションヘルプ」をご参照ください。)
- IoT クラウド Standardで扱えるデータ項目(「DMA-T2Kから upload する計測データ」+「仮想データ」)の総数に は制限があり、追加登録できない場合には下記のようなメッセージが表示されます。

仮想データ項目は、計測データ項目数と合わせて最大 🌑 項目です。計測データ項目数: 🌑 、仮想データ項目数 : 🌑 👘

上限数を超えて追加登録したい場合、KDDIへご相談いただくことで、上限数を拡張できる場合があります。 (※IoT クラウド Standardとして割り当て可能な上限数までであれば、個別に拡張できるシステム構成になって います。)

3.3 画面表示設定

登録いただいた「計測データ(「3.1」参照)」「仮想データ(「3.2」参照)」の内、閲覧対象とするデータ項目を 設定します。また、本画面で、グラフ表示の条件についても設定します。

(1)「設定」タブをクリックした画面内にある「画面表示設定」をクリックします。



(2) 全データ項目の表示設定が一覧表示されます。(※下記内容は例です。) (管理Mobil て「計測データ・通し番号=0~」「仮想データ:通し番号=1000~」が割り振られます。)

Designing 7	The Future										●様 ⊟
画面表	示設定 DM	サマリー IA-T2K	記録デー	7 X 3	リセージ	戦定	端末一覧	レポート			
直面	表示設定	サイト設定	警戒線	■武線1	(ベント	メッセージイベ	ント 仮想: 	データ項目	データリンク設定		
変更	データ項目	の表示設定									
NO	項目名		単位	並び順	自由での頃 サマリー	日表示 記録データ	クラフ設定 タイプ	線色	太さ	Y軸下限	Y軸上限
0	雨量		mm	o	表示	表示	縦棒	DA4A52	*	o	10
1	気圧		hPa	1	表示	表示	折れ線	5265B0	Ψ	0	1200
2	温度		C	2	表示	表示	折れ線	7BB661	Φ	0	100
3	温度		%RH	3	表示	表示	折れ線	FFD858	Φ	o	100
4	通電情報		-	4	-	-	折れ線	986771	細	0	100
5	DI1		-	5	-	-	折れ線	F38235	細	0	100
6	DI2		-	6	-	-	折れ線	98B4D4	細	0	100
7	DI3		-	7	-	-	折れ線	CC00A0	細	0	100
8	DI4		-	8	-	-	折れ線	128191	細	0	100
9	DI5		-	9	-	-	折れ線	266659	細	0	100
10	DI6		-	10	-	-	折れ線	BD97CB	細	0	100
11	DI7		-	11	-	-	折れ線	BFE9E3	粗	0	100
12	DI8		-	12	-	-	折れ線	AF3B41	細	0	100
13	DI9		-	13	-	-	折れ線	62924E	細	0	100
14	PI10		-	14	-	-	折れ線	CDAD46	細	0	99999
1000	DI1			1000	表示	表示	折れ線	BA939B	細	0	100
1001	停電監視			1001	表示	表示	折れ線	C3682A	細	0	100

上記表示設定の続き(下)部分に、以下の設定項目があります。(※後述部の(4)で説明) ⇒「サマリーページの表示設定」「記録データ画面の表示設定」「グラフ欠損データの表示設定」 (3)「変更」ボタン(※データ項目の表示設定の横)をクリックすると、画面表示条件とグラフ内容を編集できるようになります。

画面表	画面表示設定 DMA-T2K											
画面	表示設定	サイト設定	警戒線	警戒線	イベント	メッセージィ	イント	仮想データ項目	データリング	設定		
データI サマリー 設定内容	データ項目の表示設定 サマリー・記録データ等の各画面での表示/非表示切り替えやグラフ上での線の色合いなどを各データ項目ごとに行えます。 設定内容の詳細についてはヘルプを参照してください。											
NO	項目名		単位	並び順	画面での項 ■ サマ リー	目表示 □ 記録 データ	グラフ設定 タイプ	線色	() エンシンの 内 (() () () () () () () () ()		/軸上限	
0	雨量		mm	0	☑ 表示	☑表示	縦棒	▼ DA4A52	*	0		10

分類	項目	内容					
		番号の小さい項目が先に表示されます。					
	単の順	(表示順を、登録順の状態から入れ替えることができます。)					
画面での 項目表示	#71-	サマリー画面は、現在値とグラフを表示します。(「4」項参照)					
	サマリー	当該項目を表示する場合は、チェックを付けます。					
		記録データ画面は、指定期間内のデータをリストで表示します。					
	記録データ	(「5.1」項参照)					
		当該項目をリスト表示の対象とする場合は、チェックを付けます。					
	タイプ	「折れ線 ⇔ 縦棒」の何れかを選択できます。					
	線色	グラフの色を選択できます。 (※6 桁の数値は RGB のカラーコード)					
グラフ設定	太さ	グラフの太さ(細⇔中⇔太⇔極太)を選択できます。					
	Y軸下限	グラフの縦軸範囲(下限)を設定します。(※横軸(X 軸)は時間です)					
	Y軸上限	グラフの縦軸範囲(上限)を設定します。					

※「項目名」「単位」は、データリンク設定画面(「3.1 (4)」)で設定した内容です。

(4)「データ項目の表示設定」の続き(下)に、次の設定項目があります。

1001 停電監視		1001	表示	表示	折れ線	C3682A	細	0	100
変更 サマリーページの表示設定									
グラフ表示期間	最新データ 1日	分							
警戒状態でのテキスト表示色	404040								
変更記録テータ画闻の表示設定									
警戒状態(目安)のテキスト表示色	404040								
変更 グラフ欠損データ表示設定									
欠損データの判定	自動								
欠損データの間隔									

(5)「サマリーページの表示設定」では、「グラフ表示期間」「警戒状態でのテキスト表示色」を選択します。 表示期間としては、「最新データ1時間分⇔3時間分⇔6時間分⇔1日分⇔2日分⇔3日分⇔7日分」 の何れかを選択できます。

テキスト表示色は、サマリー画面の「表示動作変更」から選択することもできます。(「4.1」項参照)) サマリーページの表示設定

サマリーページの表示動作を変更でき	ます。						
	サマリーページに表示されるグラフの表示期間を選択できます。						
クラフ衣示期間	最新データ 1日分 ▼						
警戒状態でのテキスト表示色	最新データ 1時間分 最新データ 3時間分 最新データ 6時間分	ヽ表示色を変更できます。 ミ」でブラウザ毎に変更することもできます。					
	最新テーダ 1日分 最新データ 2日分 最新データ 3日分						
	最新データ 7日分						

(6)「記録データ画面の表示設定」では、「警戒状態(目安)のテキスト表示色」を選択します。

	記録データ画面の表示設定	
	記録データ画面での表示動作を変更で	きます。
	警戒状態(目安)のテキスト表示色	リスト表示の既定のテキスト表示色を変更できます。 ※計測値が何れか一つの警戒線の警戒値以上の場合に適用され、過去データの警戒状態を正しく表すものではありません。 記録データの警戒状態判断の目安として利用してください。
		404040
1		

(7)「グラフ欠損データの表示設定」では、欠損データ判定方法を「自動⇔手動」切替えできます。 「自動」の場合、クラウドサーバが自動で判断します。

(※判断条件は、ヘルプ画面にある「【データ閲覧者向け】LOGGER アプリケーション ヘルプ」を参照) 「手動」の場合、欠損として扱う判定時間(固定値)を設定できます。(※以下は、手動設定の例)

サマリーページや記録データのグラフ表示時に欠損したデータ箇所を線で繋ぐ間隔の設定が出来ます。								
欠損データの判定	手動]						
欠損データの間隔	1800 例) データ同士の間隔が10分間を超	秒 えている場合に欠損として扱う場合は600を入力してください。						

(8) 各項目の条件設定終了後、画面右下の「登録」ボタンをクリックすると、設定内容が保存されます。



3.4 アラート(警戒線)設定

DMA-T2K(監視端末)から upload した計測データに対し、IoT クラウド Standard上でアラート(警戒)監視させることができます。(検出した警戒情報をお客様環境へ通知させることができます。) 各データ項目に対して、「警戒レベル(判定値)」「警戒レベル発生時の通知内容」を設定します。

3.4.1 警戒レベルの設定(警戒線)

(1)「設定」タブをクリックした画面内にある「警戒レベル設定」をクリックします。

警戒レベル設定
端末の入力インターフェー ス毎の警戒レベルを設定し ます。

- (2)「警戒線設定」画面が表示されます。
 - 設定したいデータ項目欄にある「新規」ボタンをクリックします。

Designing The Future					_				+	●●●様	≣
	サマリー	記録デー	୨ × ୬ ବ	セージ	設定	端末	-覧 レポー	- ト			
警戒線設定 DM/	A-T2K										
画面表示設定	サイト設定	警戒線	警戒線イイ	\$⊅F	メッセージ・	イベント	仮想データ項目	∃ データリン:	ク設定		
編集する警戒レベル	ルを選択してくカ	ださい。									
選択 方向	レベル	警戒	警戒解除	太さ	線色	名称					
■ 雨量 (mm)											
新規 新規3	録します										
■ 気圧 (hPa)											
新規 新規器	録します										
■ 温度 (℃)											
新規 新規署	録します										

(3)「警戒レベルの名称」「警戒判定する方向」「判定値(警戒値、警戒解除値)」を設定します。

Designing The Future	サマリー	記録データ	メッセージ	設定	端末	一覧	レポート		\$	● ● ● 積	€ :Ξ
雨量 警戒線設定	DMA-T2K										
画面表示設定	サイト設定	警戒線	警戒線イベント	メッセーシ	ジイベント	仮想ラ	"一夕項目	データリンク	設定		
警戒線設定 警戒レベル情報の設	定を行います。通	知を発報する警戒	値や <mark>警</mark> 戒の解除値を	設定します。	設定内容の詳	畑(こついて	[は <u>ヘルプ</u> を参	診照してください。			
値の方向		上方向 (正)	•		「上方	5向(1	E) ⇔ '	下方向(負	.)]の(可れかを	選択
警戒レベル		(※自動設定)									
警戒レベル名	83 83					• 「言 (「 • 「言	計測値≧ 下方向0 計測値<	≧警戒値」 D場合は「語 <警戒解除	で警戒 計測値 <値」て	:判定 ≦≦警戒 「解除判」	值」) 定
グラフ表示		太さ なし 🔻	₽ FFFFF		L	(ト万回0	り場合は	計測個	1>警刑	解除值」)
 ※対象データが数値 ※上方向の場合、「1 例えば、計測値が 「大さ」打 		場合は、警戒しべ で警戒状態とない 解除としたい場合 グラフ上に	いしは 適用されません。 つ、「計測値 < 警戒 は、 警戒値には1、 「 警戒線が 引	。 解除値」で響新 警戒解除値には 長示され	成状態が解除 むより大きた る	されます。 :値を設定	してください。	<mark>役定完了後</mark> 。 _{展る}	ê (こク).	リックして	保存

(14ページ)

(4) 登録した警戒レベルの情報は、下記のように表示されます。

(※「レベル」欄の値は、同じ方向に複数段の警戒レベルを設定した場合の優先順位を表します。)

Designing The Fu	ture	サマリー	記録デー	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	+7 - S)	設定	端末	- 6	レポート		\$	●●●様	≣
警戒線設定	E DMA-T	2К	80 300 2			~~~		<i></i>					
直面表示	設定	サイト設定	警戒線	警戒線イノ	۲ ン ト	メッセーシ	ジイベント	仮想号	データ項目	データリンク設定	Ē		
編集する警	戒レベルを	選択してくカ	ざさい。										
選択	方向	レベル	警戒	警戒解除	太さ	線色	名称						
■ 雨量 (r	nm)												
選択	↑上	1	30	10	なし	FFFF	FF 📷	t上昇					
新規	新規登録し	/ます											

3.4.2 警戒レベル発生時の通知内容設定(警戒線イベント)

「3.4.1」で設定した警戒線(警戒レベル)に割り当てる通知内容を設定します。

(1)「設定」タブをクリックした画面内にある「警戒線イベント設定」をクリックします。

警戒線イベント設定
警戒レベルの超過(または レベル超過解除)毎にメー ル送信などのイベントを設 定します。

(2)「警戒線イベント設定」画面が表示されます。 設定したいデータ項目欄にある「新規」ボタンをクリックします。

Designing The Future								*	●●●様	≣
	サマリー	記録 デー	ターメッセージ	設定	端末	- 覧 レク	ポート			
警戒線イベント言	设定 DMA-T	2К								
画面表示設定	サイト設定	警戒線	警戒線イベント	メッセ-	-ジイベント	仮想データ]	項目 データリ	リンク設定		
変更 警戒線イハ イベント共通の動作 イベント動作の一時	ペント共通設定 設定を行います。 停止	★	登録し ことがで	た警戒約 できます	泉 イベント 。(※(5)	・(全て)の 項で説明)検出をまと します。)	 :めて停止 	する	
警戒線イベントー野 編集するイベントをi	き 難択してください	h								
選択 方向	レベレ	優先度	動作利用状態	名称 警	戒時外部通知	警戒時出力	警戒時メール	解除時出力	解除時メール	
■ 雨量 (mm)										
新規 新規登	録します									
■ 気圧 (hPa)										
新規 新規登	録します									
■温度 (℃)										
新規 新規登	録します									

(3) 以下の構成の画面が表示されます。対象とする警戒線を選択し、メール通知内容を設定します。

雨量 警戒線イベント動作	設定 DMA-T2K	
画面表示設定 サイト部	設定 警戒線 警戒線イベント メッセージイベント 仮想データ項目 :	データリンク設定
警戒線イベント動作設定 警戒時や警戒解除時に動作させる	るイベントを設定します。設定内容の詳細についてはヘルプを参照してください。	
対象となる警戒線	◎図 [雨量] ↑上レベル1:雨量上昇(30,10) ▼ → 対象と	する警戒線を選択
利用状態 イベント発生時の「外部システ」 利用状態	ムへの通知」「メール送信」の利用と停止を切り替えます。 利用 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	線イベントの通知を ることができます。
警戒時の動作		
動作方法	 通知のみ発生 通知方法 HTTP/HTTPS	!します。 D初回のみ通知 の計測値をDMA-T2Kから -
外部システムへの通知 【クリア】	upload する皮に通知 **** *******************************	1してください。
メール通知 内容を設定 (発生時)	送信先 test@ezweb.ne.jp 件名 雨量上昇警報 本文 発生日時 [time] 検出値=[value]mm ※ 複数のメールアドレスへ出得する場合は、「, (カンマ)」 区切りで出得たをえ力してください。	 送信先はカンマ区切りで複数指定可 メール本文内に以下の情報を埋め込み可[time] ※検出時刻[value] ※検出値
警戒解除時の動作	※ メール送得元 (from) は、 <u>サイト協定</u> から行います。 テスト送信	
外部システムへの通知	通知方法 HTTP/HTTPS ▼ 通知先	
	 ※ プロトコルはhttpをしくばhttps. リクエストメソッドはGETです。 ※ BASICIEEEを使用する場合は、スキーム(http://)の残るに、ユーザロン(スワードのの形式で記述 ※ クエリストリングにはメール進行と同じ [value], [time] が使用できます。 テント送信 	してくだきい。
 メール通知 内容を設定 (警戒レベル から復帰時) 	本頃元 test@ezweb.ne.jp 件名 雨量上昇から復帰 本文 復帰日時 [time] 歳出値=[value]mm	 送信先はカンマ区切りで複数指定可 メール本文内に以下の情報を埋め込む可
メール送信 [クリア]		いTF和を生め込みの可 [time] ※検出時刻 [value] ※検出値 設定完了後に
優先順位	○ 201 2418 ○ (0 ~ 99) ※ 相反する動作が発生する場合、順位の小さいイベントが催洗されます。	クリックして保存
	ĘS	● 削除:

(16ページ)

(4) 警戒線イベントを登録すると、以下のように登録内容が表示されます。

Designing The		サマリー	記録デー	-9 ×	ッセージ	設定	端末一!	№ レポー	· ト	2	●●●様	∷
警戒線 イ	(ベント設	定 DMA-T	2К									
画面表	示設定	サイト設定	警戒線	警戒線	イベント	メッセー	ジイベント	仮想データ項目	データリン	ンク設定		
変更	警戒線イベ]	ント共通設定										
イベントst	共通の動作設	定を行います。										
イベント	動作の一時例	₽ĿĿ	無効									
警戒線イ	ベント一覧											
編集する・	イベントを選	択してください	\									
選択	方向	レベル	優先度	動作	利用状態	名称	警戒時外部通知	警戒時出力	警戒時メール	解除時出力	解除時メール	
■ 雨量	(mm)											
選択	↑Ŀ	1	0	初回	利用中	雨量上昇			兩量上昇警報		雨量上昇から復り	#
新規	新規登録	します										

(5) なお、登録した警戒線イベント(全て)の検出をまとめて一時停止することができます。 「警戒線イベント共通設定」の「変更」ボタンをクリックした画面で、一時停止を有効化できます。

Designing The Future	サマリー	記録データ	メッセージ	設定 第	i末一覧 レポート	2	● ● ● 様	∷
警戒線イベントま	共通設定 DM4	A-T2K						
画面表示設定	サイト設定	響戒線	警戒線イベント	メッセージイベント	仮想データ項目	データリンク設定		
警戒線イベント共道 イベント共通の動作	通設定 設定を行います。							
イベント動作の一時	锻定	有効にすると 一時停止設定	、警戒線イベント発生 は、各イベント毎の利	時の「外部システムへの 用状態に関わらず、有効	通知」「メール送信」の になります。	各動作を停止します。		
		I				戻る	登録	

3.4.3 お客様環境へ通知されるメールの例

警戒情報を検出した際、IoT クラウド Standardから以下の形式のメールを配信します。

【警戒レベル検出~配信までの流れ】
(1)DMA-T2Kが計測データを upload
(2) upload されたデータに、「3.4.1」で設定した警戒レベルとなる入力値が含まれることを検出
(3)「3.4.2」で設定した送信先メールアドレス宛てに、設定した形式のメールを配信

【IoT クラウド Standardから配信するメールの例】

送信元メールアドレス(From)	no-reply@m2m-cloud-std.kddi.ne.jp				
送信先メールアドレス(To)	test@ezweb.ne.jp				
メールの件名 (Subject)	雨量上限警報				
	発生日時 2016/06/30 09:31:13				
メールの本文 (Body)	検出值=30mm				

※「送信先メールアドレス」は、上記メールを受信いただくお客様のメールアドレスになります。 ※「送信元メールアドレス」は、「設定」タブの画面にある「サイト設定」の画面で変更できます。 ※上記内容は、「3.4.2 (3)」の設定例に基づいています。

3.5 メッセージイベント設定

メッセージイベントとは、「No.0~63」(最大 64 個)の番号に警報情報を割り当てておき、DMA-T2K(監視端末) から「警報データ(警報の通知No.)」が upload された際に、当該No.のイベントを検出する機能になります。 イベント検出によって、お客様環境へ警報情報を通知させることができます。

3.5.1 DMA-T2Kから upload する警報番号

DMA-T2Kは、定期的な upload だけでなく、入力変化(AI 変化/DI 変化/停電/復電/テストスイッチ押下) のトリガによってデータを upload させることもできます。

入力変化発生時に upload するデータ内容として、「計測データ ⇔ 警報データ」の何れかを選択できます。

「警報データ」を選択いただいた場合、DMA-T2Kは、入力変化の検出内容に応じて以下の通知№で 警報データを upload します。 (警報データは、「通知№」と「メッセージ」を格納した内容になっており、 お客様環境への通知内容に「監視端末から upload されたメッセージ内容」を含めることができます。)

通知No.	通知内容(通知トリガ)	格納メッセージ	通知No.	通知内容(通知トリガ)	格納メッセージ
0	AI1 上上限異常検出	"xxxx" (※計測値)	32	DI1 ON 時通報	"ON" or "OFF"
1	AI1 上上限復帰検出	同上	33	DI1 OFF 時通報	同上
2	AI1 上限異常検出	同上	34	DI2 ON 時通報	同上
3	AI1 上限復帰検出	同上	35	DI2 OFF 時通報	同上
4	All 下限異常検出	同上	36	DI3 ON 時通報	同上
5	AI1 下限復帰検出	同上	37	DI3 OFF 時通報	同上
6	All 下下限異常検出	同上	38	DI4 ON 時通報	同上
7	All 下下限復帰検出	同上	39	DI4 OFF 時通報	同上
8	AI2 上上限異常検出	同上	40	DI5 ON 時通報	同上
9	AI2 上上限復帰検出	同上	41	DI5 OFF 時通報	同上
10	AI2 上限異常検出	同上	42	DI6 ON 時通報	同上
11	AI2 上限復帰検出	同上	43	DI6 OFF 時通報	同上
12	AI2 下限異常検出	同上	44	DI7 ON 時通報	同上
13	AI2 下限復帰検出	同上	45	DI7 OFF 時通報	同上
14	AI2 下下限異常検出	同上	46	DI8 ON 時通報	同上
15	AI2 下下限復帰検出	同上	47	DI8 OFF 時通報	同上
16	AI3 上上限異常検出	同上	48	DI9 ON 時通報	同上
17	AI3 上上限復帰検出	同上	49	DI9 OFF 時通報	同上
18	AI3 上限異常検出	同上	50	DI10 ON 時通報	同上
19	AI3 上限復帰検出	同上	51	DI10 OFF 時通報	同上
20	AI3 下限異常検出	同上	52	停電検出	"power failure"
21	AI3 下限復帰検出	同上	53	復電検出	"power recovery"
22	AI3 下下限異常検出	同上	54	テスト送信	"[TEST]key=ON"
23	AI3 下下限復帰検出	同上	55	<未使用>	
24	AI4 上上限異常検出	同上	56	<未使用>	
25	AI4 上上限復帰検出	同上	57	<未使用>	
26	AI4 上限異常検出	同上	58	<未使用>	
27	AI4 上限復帰検出	同上	59	<未使用>	
28	AI4 下限異常検出	同上	60	<未使用>	
29	AI4 下限復帰検出	同上	61	<未使用>	
30	AI4 下下限異常検出	同上	62	<未使用>	
31	AI4 下下限復帰検出	同上	63	<未使用>	

 ●「警報データ」選択時、「停電」「復電」イベントについては、「警報データ」だけでなく「計測データ」も uploadします。
 (※計測データのモニタリング用サマリー画面(「4」項参照)において、停電発生前後の通電情報が 更新表示されるように、「計測データ」についても upload します。)

3.5.2 メッセージイベントの設定

(1)「設定」タブをクリックした画面内にある「メッセージイベント設定」をクリックします。

メッセージイベント設定
イベント発生時に送信され るメールのメッセージを編 集します。最大64パターン まで設定ができます。

(2)「メッセージイベント設定」画面が表示されます。

使用する警報データNo.(0~63の何れか)の「選択」ボタンをクリックします。(左端の列にあるボタン)

	Future	サマリー	記録データ	メッセージ	設定	端末	一覧	レポート		*	●●●様	∷
メッセー	ジイベント	≻設定 DM	A-T2K									
面面表现	示設定	サイト設定	警戒線	警戒線イベント	メッセージ	イベント	仮想テ	一夕項目	データリンク	設定		
変更 > イベント共 イベント	↓ッセージイ 通の動作設定 動作の一時停!	ベント共通語 を行います。 止	受定 売 効	登録し するこ	たメッセーとができる	ージイ^ ます。(>	×ント ※(6)	(全て)(項で説	D検出をま 別します。	ミとめ ⁻)	て停止	
メッセー3 編集するイ	ジイベントー 'ベントを選択	·覧 リテください										
選択	通知No	利用状態	。 警戒時外部通知	警戒時出力	警戒	成時メール						
選択	o											
選択	1											
選択	2											
く途中省	略>											
選択	62											
選択	63											

(3) 以下の構成の画面が表示されます。(「メッセージイベント動作設定」画面)

>0 メッセージイベント動	作設定 DMA	-T 2 K			
画面表示設定 サイト設定	警戒線	警戒線イベント	メッセージイベント	仮想データ項目	データリンク設定
ッセージイベント動作設定					
ッセージイベント発生時の動作を	設定します。設定	四内容の詳細については	t <u>ヘルプ</u> を参照してくだる	561.	
イベント内容	通知No0				
用状態					
ベント発生時の「外部システムへ	の通知」「メール	送信」の利用と停止を	切り替えます。		
川用状態	利用 🔻			設定したがで	することができます。
ベント発生時の動作			<u>L</u>		
的作方法 必须	每回発生	•	通知のタ	イミングは「毎	回発生」固定
₩₽システムへの通知 <u>クリア1</u>	通知先 ※ ブ ※ 외	コトコルはhttpもしくはhttp SICizi正を使用する場合は、	s、リクエストメソッドはGE スキーム(http://)の後ろに	.:: .:: . ユーザロッパスワードの の形岩	で記述してください。
	※ グ: デ 送信先 tes	エリストリングにはメール選 <mark>水送信</mark> tt@ezweb.ne.jp	(물と同じ [value], [time] カ	使用で含ます。	 送信先はカンマ区切り 複数指定可 メール本文内に以下の
メール 通知 人内容を設定	件名 DM 本文 [判 日 値	IA-T2K AI1(雨量)上上 定データ] 時 [time] =[value]mm	限異常検出		報を埋め込み可 [time] ※検出時刻 [value] ※メッセージ
(ール送信 <u>クリア1</u>	× 291	始のメールアドレスへ送信せ	·る塩合は、「. (カンマ)」 Rt		メッセージ内容は「3.5.1」参
	×۲ ×× ۲ × × ۲ × ×	ール本文内にエラー内容を握 alue」は、エラーメッセー3 ール送信元(from)は、サイ	したこれ、「, (スタマ)] 品()が送信されている場合のみセ (ト設定から行います。 「	メッセージ日時は「[time]」。 ットされます。 クラウドロガー	- として入力してください。 3G/ENの協会は「-」 重定となります。
l	Ŧ	水送信		設定完了後に	クリックして保存
				R 2	2018¢
				tto t	

(4) 動作設定を登録すると、以下のように登録内容が表示されます。

Designing The Future				_				÷.	••• • 禄	:=
	サマリー	記録データ	メッセージ	設定	端末一覧	レポート				
メッセージイベ	ント設定 DM	A - T 2 K								
画面表示設定	サイト設定	警戒線	警戒線イベント	メッセージイベン	ト 仮想	データ項目	データリンク設定	Ē		
変更 メッセー	ジイベント共通	設定								
イベント共通の動作	⊧設定を行います。				I				7	
イベント動作の一	時停止	無効				通知>	ールの「件	名」		
						情報カ	「表示される			
メッセージイベン	卜一覧				L L					
編集するイベントを	選択してください	۱.,		_		<u> </u>				
選択 通知N	lo 利用状態	警戒時外部通知	警戒時出力	警戒時メー	-JL					
選択 0)利用中			DMA-T2k	AI1(兩量)上_	上限異常				

(5) 使用する警報データNo.全てに対して、上記(2)~(4)の設定操作を行います。

(6) なお、登録したメッセージイベント(全て)の検出をまとめて一時停止することができます。 「メッセージイベント共通設定」の「変更」ボタンをクリックした画面で、一時停止を有効化できます。

Designing The Future								2	● ● ● 様	∷⊟
	サマリー	記録データ	メッセージ	設定	端末一覧	レポート				
メッセージイベン	>ト共通設定	D M A - T 2 K								
画面表示設定	サイト設定	警戒線	警戒線イベント	メッセージイベン	·ト 仮想:	データ項目	データリンク設定	Ē		
メッセージイベント	▶ 共通設定									
イベント共通の動作	没定を行います。									
イベント動作の一時	設定	有効にすると、 一時停止設定	、メッセージイベント は、各イベント毎の利	発生時の「外部シス: 用状態に関わらず、1	テムへの通知」 有効になります。	「メール送信」 。	の各動作を停止しま	J .		
		無効 🔻								
						L	戻る		登録	

3.5.3 お客様環境へ通知されるメールの例

警報データの upload を受けた際、IoT クラウド Standardから以下の形式のメールを配信します。

【データ upload~配信までの流れ】 (1) DMA-T2Kが警報データを upload (2) upload された警報データの通知No.を参照し、同No.のメッセージイベント割り当てを確認 (3)「3.5.2 (3)」で設定した送信先メールアドレス宛てに、設定した形式のメールを配信

【IoT クラウド Standardから配信する通知メールの例】

送信元メールアドレス(From)	no-reply@m2m-cloud-std.kddi.ne.jp
送信先メールアドレス(To)	test@ezweb.ne.jp
メールの件名(Subject)	DMA-T2K AI1(雨量)上上限異常検出
	[判定データ]
メールの本文(Body)	日時 2016/06/24 09:17:52
	值=35mm

※「送信先メールアドレス」は、上記メールを受信いただくお客様のメールアドレスになります。 ※「送信元メールアドレス」は、「設定」タブの画面にある「サイト設定」の画面で変更できます。 ※上記内容は、「3.5.2 (3)」の設定例に基づいています。

【注意事項】 アナログ入力(AI)の工業値変換は、「DMA-T2K側 ⇔ IoT クラウド Standard側」の何れか で実施(条件設定)します。 上記の通知メール本文に「警報データ内のメッセージ(AI 計測値)」を[value]指定で埋め込 む場合、「AI 計測値=DMA-T2Kの測定値」となります。 工業値変換をIoT クラウド Standard側で実施いただく場合、メール本文内の AI 計測値情報 は「工業値変換前の生値」となりますので、ご注意ください。



3.6.1 ユーザアカウント情報の確認・編集

ユーザ情報の右端にある詳細ボタン(**○**)をクリックしますと、ユーザ情報(詳細)が表示されます。 画面右下にある「編集」ボタンをクリックしますと、登録内容を変更できます。

Desi	gning The Future								8	● ● ● 桜	∷
		登録内容	端末グループ	ユーザ	LOGGER	LIVE					
ב-	- ザ詳細										
	ユーザ情報										
	ユーザ状態										
	状態		利用可能								
	ユーザ情報										
	企業										
	ユーザID (メー	ルアドレス)									
	ユーザ名			I							
	ユーザ権限		ユーザー管理	者							
	ロール		管理者(Mana	iger)							
	課金情報										
	課金		課金					内容を到	変更す _{ギタン}	「る際は をクリック	、 5
	利用開始日		2016/09/20					します。			
	利用終了日										
								戻る		編集	
	端末グループ						「ユーザ」権		ッントの)場合、]
	設定されたグル・	ープ	管理者は全て	の端末グルー	プを参照可能です。	-	閲覧可能な 表示されます	端末グル- ナ。 	-ブの 	情報が 	

以下のユーザ編集画面にて、ユーザ情報を変史(編集)できます

(以下は、IoT クラウド Standard契約時の管理者 ID 情報です。)

ing The Future 登録内容	端末グループ ユーザ LOC	GGER LIVE	様
ザ編集			
ユーザ情報			
ユーザ情報			
企業			
ユーザID(メールアドレス)			
パスワード	システムにログインする際に入力で	「るパスワードです。	
		※半角类数、記号 "-"、"_"、""のみ 最小8最大20文字	
パスワード(確認)	確認のためパスワードをもう一度フ	力してください。	
ユーザ名		※最大100文字	
ユーザ権限	□ ユーザー管理者 -		いた
		だく場合、左記の利用開始日(左記日時は	:例)
課金情報 2017年4月2		よりも前(過去)の日時は設定できません。 (※利用不可と判断)	
利用開始口	2016/09/20		
利用終了日	利用終了日を過ぎると課金対象では	t無くなります。終了日を過ぎても再入力可能です。空欄の場合無期限となります。 	
		戻る 登録	
扁集できる内容につ	いては、「3.6.2 ユーザア	アカウントの追加」の項で説明します。	
お、上記画面(例)	は契約(申込み)時に登	録した管理者 ID 情報となります。	

そのため以下の内容については固定(変更不可)となります。

「ユーザ権限(※「ユーザ管理者」のみ選択可)」、「利用開始日」

3.6.2 ユーザアカウントの追加

ユーザ画面(「3.6」項参照)の左上にある「 🕂 ユーザ新規追加 」ボタンをクリックしますと、「ユーザ 追加」画面が表示されます。

	激怒中应	쓰는 것 이 구	f					\$	●●●様	E
ユーザ追加	豆颏内谷	端木グループ	<u> </u>	LUGGER	LIVE					
ユーザ情報										
ユーザ情報										
企業										
ユーザID (メー)	ルアドレス)	システムに ジ 須 ※ユーザIDは	ログインする際(登録後変更するこ	こ入力するIDです ことが出来ません。	。一意になるよ [、]	うにメールアドレスを入力 ※半角英数、記号 "、 とも出来ません。利用終了し)してください。 "_"、"."、"@"のみ <mark>,たい場合は利用</mark> :	→ 最小4最大 終了日を言	^{、100文字} 錠して下さい。	
パスワード		<u> 多</u> ステムに	ログインする際に	こ入力するパスワ	ードです。	※半角英数、記号 "-"、	"_"、"."のみ 最小	8最大20文	Ŷ	
パスワード(確認)	確認のため) 必須	パスワードをもう	う一度入力してく	ださい。					
ユーザ名		<u>Ø</u> <u>A</u>				※最大100文字	下記の	つ何れ	いを選択	
ユーザ権限		83	·	•			ユーザ	— 	*	
利用開始日		利用開始日本	を過ぎると課金 ^文 より前、または空	対象となります。 個の場合サービス	また、開始日を述 をご利用いただけま	aぎると変更できません。		6/1		
利用終了日		利用終了日初	を過ぎると課金対	対象では無くなり	ます。終了日を追	■ぎても再入力可能です。	空欄の場合無期	限となり	ます。	
						戻	8		登録	

項目	設定内容	備考
ユーザ ID	メールアドレス	IoT クラウド Standard全利用者の ID が重ならない ように、お手持ちのメールアドレスを設定します。 (「半角英数、"-" "_" "." "@"記号」、4~100文字) 登録後は変更・削除できません。
パスワード	ログイン用パスワード	「半角英数、 [″] -″ ″_″ ″.″記号」、8~20 文字
ユーザ名	各画面に表示されるユーザ名	最大 100 文字
ユーザ権限	参照・操作できる範囲(権限)	「ユーザ」「ユーザ管理者」の何れかを選択
利用開始日	当該アカウントの利用開始日	開始日を過ぎると、変更不可になります。 IoT クラウド Standard契約時の利用開始日よりも前 (過去)の日時は設定できません。
利用終了日	当該アカウントの利用終了日	当該アカウントの有効期間を設定します。 空白の場合は無期限となります。

※「利用開始日~終了日」の項目部分で、当該アカウントの有効期間(課金発生期間)を設定します。

3.7 端末情報・端末グループの編集

複数台の監視端末を有する場合、各端末にユニークな名称を設定して区別し易くします。 またグループ情報(構成)を設けることで、端末ごとに所属するグループを割り当てて管理し易くできます。 (※「ユーザ」権限のログインアカウントについては、グループ単位で扱える端末を割り当てます。)

3.7.1 端末情報の確認・編集

PLATFORM で「LOGGER」タブをクリックしますと、以下の LOGGER 画面が表示されます。

Designing The Futur	。 登翁	水 容	端末グループ	ユーザ	LOGGER	LIVE			↓ ●●● 様	∷
						検索	すべての状態 💌	すべての項目 🔽 から		٩
アプリ	<u>端末ID</u> 。	端末名称	Ŧ	端末	グループ・		<u>状態</u> -	登録日 ▼	利用開始日 👻	詳細
~		DMA-T2K		/端末	グループ1		🕑 利用中	2016/09/20	2016/09/20	Ø

端末情報の右端にある詳細ボタン(📀)をクリックしますと、端末情報(詳細)が表示されます。

signing The Future					÷ •••	磙
登録内容	端末グループ ユーザ	LOGGER	.IVE			
詳細						
端末情報						
端末状態						
状態	⊘利用中					
端末情報						
端末種別	LOGGER					
端末ID	-					
端末名	DMA-T2K					
端末管理ID						
企業						
端末グループ	/端末グループ1					
並び順(グループ内)						
端末詳細情報						
代理店コード						
(※画面内容省	ì略)					
パスワード						
課金情報						
利用開始日	2016/09/20			内容を変	変更する際(よ、
利用終了日				「編集」	ドタンをクリ	ック
備考				(端末編	集画面を表え	示)
備考						
				戻る	編集	

(26ページ)

Desig	aning The Future							0.70	2	● ● ● 桜	Ξ
K		登録内容	端末グループ	ユーザ	LOGGER	LIVE					
端末	編集										
	端末情報										
	端末情報										
	端末種別			ER							
	端末ID		_								
	端末名		必須 DMA-T2K				※		「端末彳	らっていた。	
	端末管理ID		端末管理ID(はユーザ管理者	が自由に設定出来	そる項目です。	※最大50文字		 お客様に ごとの等ま	て独自に	 端末
	企業				Et.	ニュー ビー ビー ビー ビー ビー ビー ビー ビー ビー・ション しょう			てる際に利	利用できます	ッヨ す。
	端末グループ		必須 /端末グル-	-プ1 🔻		※左記グル-	ープ名は例)				<u> </u>
	並び順(グルーフ	プ内)	端末グループ	プ内での端末の ※半角数:	並び順を設定でき 字のみ	ます(空欄可)			「登録」: 内容を確	ボタンで変 『定します。	5更
								尾る		登録	

「端末編集」画面にて、「端末名」と所属させる「端末グループ」を変更できます。

3.7.2 端末グループ情報の追加・編集

「ユーザ管理者」権限でログインしますと、PLATFORM 画面に「端末グループ」タブが表示されます。 「端末グループ」画面にて、端末グループ情報を編集および追加できます。

Designing The Future							2	● ● ● 様	≣
	登録内容	端末グループ	ユーザ	LOGGER	LIVE				
🛉 端末グループ追加					検索	すべての項目 💌 から			٩
<u>グループ名</u> ▼		親グループ	7		並び順		<u>登録日</u> ▼		詳細
デフォルト端末グループ							2016/09/20		٥
 	「追加	」時にクリック	^ク			「編集」時(こクリック		

(1)「端末グループ追加」時は以下の画面が表示されます。

_ 既存グループを「親グループ」の位置付けとし、「子グループ」として追加することもできます。

Ķ	igning The Future	登録内容	端末グループ	ユーザ	LOGGER	LIVE		*	●●●様	≣
端末	⊧グループ追加	1								
	端末グループ情	青報						 ープ」とし	 て追加する	1 3 ¦
	管理者は企業全ての	の端末グループを	閲覧出来ます。				場合は、	親となる	グループる -+	を!
	企業						1 9262	う迭択しま	• 9 °	I
	親グループ		親グループ:	を設定すること	こでグループに親子	関係を持たせ、	ソリー構造にすることが出来ます。	(空欄可)		
	グループ名	l	8a				※最大50文字	「グル-	ープ名」を	設定
	並び順		ユーザ管理	者が端末グル- ※半角数	-プの並び順を設定 ^{字のみ}	2出来ます(空欄で	¹⁾ 「登録」ボタン 内容を登録し	 ノで設定 ます。		
							L 戻る		▲ 登録	

(2) 端末グループの設定内容を変更(編集)する場合、グループ情報の右端にある詳細ボタン
 ()をクリックします。

グループ詳細	端末グループ ユーザ	LOGGER LIVE		
端末グループ情報				
企業				
親グループ				
グループ名	端末グループ1			「編集」ボタンを
並び順				クリック
				+
			戻る	編集
	本グループ			
ミューザー覧	「ユーザ」権限	長のアカウント情報と、		
当つ ーザけありません	本グループに	二属する端末情報が表		
	: 示されます。		│ □ 本箇所	▼をクリックした場合、
				」頃の姉木計神画は こされます。
削当端末一覧			1 10 201	
アプリ 端末ID	譯表	经称	状態	利用開始日 詳細
	DM	A-T2K	▲ 利用中	2016/09/20
の「端末グルー	プ編集」画面が表示	され、本画面でグル	ープ情報を変	更できます。
ng The Future				▲ ● ● ● 様
登録内容	端末グループ ユーザ	LOGGER LIVE		
フループ編集				
「ホクルーフ」情報	プを閲覧出来ます。			
「ホクルーフ」情報 「理者は企業全ての端末グルー」				
「ホクルーフ」情報 「理者は企業全ての端末グルー」 企業				
電ボクループ情報 理者は企業全ての端末グルー 企業	親グループを設定すること	こでグループに親子関係を持たせ、ツリー	構造にすることが出来ます。	(空欄可)
「ホクルーフ」「青報 理者は企業全ての端末グルー」 企業 親グループ	親グループを設定すること グループはありません	-でグループに親子関係を持たせ、ツリー:	構造にすることが出来ます。	(空欄可)
ホイクループ「青報 理者は企業全ての端末グルー」 企業 親グループ グループ名	親グループを設定すること グループはありません 端未グループ1	こでグループに親子関係を持たせ、ツリー	構造にすることが出来ます。 ※最大50文字	(空欄可)
5ホクループ情報 理者は企業全ての端未グルー: 企業 親グループ グループ名	親グループを設定すること ガループはありません 端未グループ1 ユーザ管理者が端未グルー	・でグループに親子関係を持たせ、ツリー ・ブの並び順を設定出来ます(空棚可)	構造にすることが出来ます。 ※最大50文字	(空欄可) 「登録」ボタンで逐
 ホクループ情報 理者は企業全ての端未グルー: 企業 親グループ グループ名 並び順 		こでグループに親子関係を持たせ、ツリー -プの並び順を設定出来ます(空欄可) Fのみ	構造にすることが出来ます。 ※最大50文字	 (空欄可) 「登録」ボタンで到 内容を確定します。

以下の「グループ詳細」画面が表示されますので、「編集」ボタンをクリックします。

4 モニタリング用画面(サマリー画面)



「サマリー」タブをクリックしますと、最新の計測データ(グラフと最新値)が表示されます。(以下は例)

- 全てのデータ項目(「計測データ」「仮想データ」)の内、表示する対象データを「3.3 画面表示設定」で 任意に選択できます。(※表示する順番も変更できます。)
- グラフは、最新データを基に下記の期間(何れか)の範囲で表示します。

 1時間分 / 3時間分 / 6時間分 / 1日分 / 2日分 / 3日分 / 7日分
 上記画面は1日分の表示例です。(※表示期間の切り替え方法は「3.3 画面表示設定(5)」を参照)
- テキスト文字に変換した仮想データ項目(※「3.2 仮想データ項目の設定」参照)については、グラフ表示の対象外となります。

画面石工にのるユー 閲覧を終了する際に	ーサ名の表示部分をクリッ は、「ログアウト」を選択して	クしますと、ト記構成のメニュー てください。	か表示されます。
* • •	●様 :::	クリック(※契約者名の表示部分	·)
? <u>a</u> uđ	₿		
↓ <u>ポータ</u>)		メニューリストか表示される 「ログアウト」選択で、閲覧を終	7
最新計測 🔒 ログア:	żĿ		
上記メニューにある	「ヘルプ」をクリックします。	と、以下のヘルプ画面が表示され	ぃます。
Designing The Future			
	データ閲覧者向けヘルプ	端末管理者向けヘルプ	
LOGGERア	プリケーション・	ヘルプ	
 『【データ閲覧 	者向け】LOGGER アプリケー:	ション ヘルプ』を表示	
 『【端末管理者】 「デームの印刷」「ター」 	向け】LOGGER アプリケーショ		
「アータの閲覧」	・種条件の設定」の目的に	応じた項目をクリックしますと、lo	T クラワト Standard
供されているヘルプ	『情報(機能と使い方の説	明)を参照できます。	
供されているヘルブ グラフ表示エリアの	[。] 情報(機能と使い方の説 右上にある「表示動作変」	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ	フと現在値の表示に
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。	『情報(機能と使い方の説 「右上にある「表示動作変)	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】	フと現在値の表示に
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。	『情報(機能と使い方の説 右上にある「表示動作変〕 ♪ ♪	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 左記項目の下にある	フと現在値の表示に
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。	[°] 情報(機能と使い方の説 右上にある「表示動作変) クリック	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 【を記項目の下にある [をクリックしますと、 グラフを印刷・画像デー	フと現在値の表示に グラフを印刷 PNG形式でダウンロード
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。	[°] 情報(機能と使い方の説 右上にある「表示動作変) 	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 」 左記項目の下にある 」 E をクリックしますと、 グラフを印刷・画像デー タ保存できます。	フと現在値の表示に グラフを印刷 PNG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロート
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。	『情報(機能と使い方の説 右上にある「表示動作変〕 ▶──── クリック 示されます。(※画面中央	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 「左記項目の下にある 「三をクリックしますと、 グラフを印刷・画像デー タ保存できます。	フと現在値の表示に グラフを印刷 PNG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロート
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。	『情報(機能と使い方の説 「右上にある「表示動作変〕 ↓ クリック 示されます。(※画面中央	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 上記項目の下にある 一〇をクリックしますと、 グラフを印刷・画像デー タ保存できます。	フと現在値の表示に グラフを印刷 PNG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロート
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。 次の変更画面が表 表示動作変更	『情報(機能と使い方の説 右上にある「表示動作変〕 ▶─── クリック 示されます。(※画面中央	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 上 左記項目の下にある 臣 をクリックしますと、 グラフを印刷・画像デー タ保存できます。	フと現在値の表示に グラフを印刷 PNG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロート
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。 次の変更画面が表	『情報(機能と使い方の説 右上にある「表示動作変〕 クリック 示されます。(※画面中央 ^{更新} 5分間隔	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 上 左記項目の下にある 臣 をクリックしますと、 グラフを印刷・画像デー タ保存できます。 「しない 間隔」の	フと現在値の表示に グラフを印刷 PNG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロート
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。	『情報(機能と使い方の説 右上にある「表示動作変〕	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 左記項目の下にある 「E」をクリックしますと、 グラフを印刷・画像デー タ保存できます。 「しない 間隔」の	フと現在値の表示に グラフを印刷 PNG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロート (3分/5分/10分/1時 の何れかを選択
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。 次の変更画面が表	⁹ 情報(機能と使い方の説 右上にある「表示動作変 <u>クリック</u> 示されます。(※画面中央 ^{更新 5分間隔} 表示 する	明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 左記項目の下にある 臣をクリックしますと、 グラフを印刷・画像デー タ保存できます。 … … … … … … … … … … … … …	フと現在値の表示に グラフを印刷 PNG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロート 30/3分/5分/10分/1時 の何れかを選択 かを選択
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。 次の変更画面が表	 パ情報(機能と使い方の説) 右上にある「表示動作変) クリック 「クリック 示されます。(※画面中央 更新 5分間隔 表示 する 示色 非警戒データ 既定の 	 明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 左記項目の下にある 「三をクリックしますと、 グラフを印刷・画像データ保存できます。 ミに表示) 	フと現在値の表示に グラフを印刷 PNG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロート の何れかを選択 の色/赤色/任意の色、 選択
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。 次の変更画面が表	⁹ 情報(機能と使い方の説) 右上にある「表示動作変 <u>クリック</u> <u>テされます。(※画面中央</u> 更新 <u>5分間隔</u> 表示 する 示色 非警戒データ 既定の 警戒データ 既定の	 明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 左記項目の下にある 「三をクリックしますと、 グラフを印刷・画像データ保存できます。 ミに表示) 	フと現在値の表示に
供されているヘルブ グラフ表示エリアの る変更が行えます。	⁹ 情報(機能と使い方の説) 右上にある「表示動作変 クリック 示されます。(※画面中央 要新 5分間隔 表示 する 示色 非警戒データ 既定の 警戒データ 既定の	 明)を参照できます。 更」部分をクリックしますと、グラ 【参考】 左記項目の下にある 「をクリックしますと、 グラフを印刷・画像データ保存できます。 (大うフを印刷・回像データ保存できます。) 「しない間隔」の 「しないの色」 「町定のれかを読いる計表示部 	フと現在値の表示に グラフを印刷 PNG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロード JPEG形式でダウンロード の何れかを選択 の何れかを選択 の色/赤色/任意の色 選択 4)項で警戒レベル設定 測データ最新値のティ 分が対象)

- グラフの Y 軸(縦方向の表示範囲)は、「3.3 画面表示設定」にある「グラフ設定」項目の「Y 軸下限」「Y 軸上限」設定によって、データ項目ごとに任意に設定できます。
- グラフ表示の種類として「折れ線/縦棒」の何れかを選択できます。
 (※「3.3 画面表示設定」にある「グラフ設定」項目の「タイプ」選択によって、データ項目ごとに切り替えできます。)
 グラフの種類に応じて、グラフ下部にあるデータ項目名(左)のグラフ色説明の太さが変わります。
 (※折れ線の場合は「一気圧(hPa)」、縦棒の場合は「■雨量(mm)」などのように表示されます。)
- グラフ下部にあるデータ項目名の上にマウスカーソルを合わせると、当該データ項目のグラフが強調 表示されます。
 また、データ項目名をクリックしますと、当該グラフの表示を一時的に「非表示⇔表示」切替えできます。

また、テータ項日名をクリックしますと、当該クラフの表示を一時的に「非表示⇔表示」切替えできます。 (※特定のデータ項目のみをグラフ表示させたい場合に利用できます。)

 ● グラフの上にマウスカーソルを合わせると、当該グラフの「データ項目」「カーソル部分の計測時刻・値」 がポップアップ表示されます。



● IoT クラウド Standard上でのアラート(警戒線)監視条件を設定(「3.4.1 警戒レベルの設定 (警戒線)」)した場合、当該警戒線をグラフに表示させることができます。

(※表示を「しない/する(太さ指定)」条件で設定)

<u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u>	清温]←
			~	
-				
4/20 0:00	04/20 03:00	04/20	04/20	



● パルス入力を扱う場合、DMA-T2Kから以下のパルスカウント値を upload させることができます。

パルスカウントの範囲	カウント値の上限を「1~99999999」範囲で任意に設定可能(データ項目ごと) (※上限カウント到達後、次のパルスで「カウント値=0」に戻る)
	「積算カウント」「累積カウント」の何れかから選択します。(データ項目ごと)
パルスカウントの種類	 【積算カウント】 定期的な upload ごとに、カウント値をクリアする。 (DMA-T2Kの定期通報 A 機能を利用した upload ごとにクリアする。) (入力変化の条件で計測データを upload する場合、積算カウント値は upload データに含まない。) 一定期間ごとのパルス量の差分(変動)をモニタする場合に使用する。
	 【<u>累積カウント</u>】 パルス発生ごとにカウントし続けている値をそのまま upload する。 (DMA-T2Kの定期通報 A 機能による upload 後にクリアしない。) カウントを継続し続けるセンサーの情報をモニタする場合に使用する。 (※例えば月末ごとのカウント値を控えておき、1ヶ月単位での差分を運 用側で計算する場合などに使用する。)

5 履歴情報の確認

監視端末(DMA-T2K)から「計測データ」「警報データ(「3.5」参照)」をuploadしますが、それぞれの履歴情報 を専用の画面で確認することができます。

- 計測データ →「記録データ」画面(「5.1」項参照)
- 警報データ → 「メッセージ」画面 (※メッセージイベントの履歴) (「5.2」項参照)

5.1 記録データ

「記録データ」タブをクリックしますと、以下の構成の画面が表示されます。(表示データの項目内容は例)

	サマリー	記録データ	メッセージ	設定	端末一覧	レポート		*	● ● ● 様	∷
記録データ D	MA-T2K								🌼 <u>csvインポー</u>	Þ
データ照会条件を	を設定してください。									
表示期間	2016年09月 💌	27日(火) 💌	0時台 💌 から	2016年09月	▼ 27日(火)	▼ 23時台	▼ まで (削除は一日単位で行われます。	, 0時台~23時台を選び	沢して下さい。)	
表示データ	全選択 全解除		□ 気圧	🔲 温度	🔲 温度	DI1	── 停電監視			
表示形式 データ表	IJスト ▼ 示		CSVダウンロード					── データを削除	する データ削除	

主一田四	扱う記録データの対象期間を選択します。(1 時間単位)
衣小别间	(※「データ削除」を実施する場合は、1 日単位(「0 時台」~「23 時台」)で選択します。)
	表示で扱う対象データを選択します。
	● 「全選択」ボタンをクリックしますと、全項目にチェックが付きます。
表示データ	● 対象項目を絞り込みする場合は、個別にチェック(クリック)します。
	(※画面表示設定(「3.3」項参照)において、データ項目ごとに「記録データ画面への表示
	の有無」を選択できます。上記画面は、6項目のみを表示対象とした場合の例です。)
	「リスト」⇔「グラフ」の表示形式を選択して「データ表示」ボタンをクリックすると、画面の
表示形式	下部に当該形式のデータが表示されます。(※対象となる期間/項目のデータを表示)
([5,1,1]][5,1,2]	表示形式 リスト 💌
項)	データ表示 <mark>リスト</mark> グラフ
CSV データ	対象となる期間/項目のデータを CSV 形式のファイルとしてダウンロードできます。
ダウンロード	ファイル名の形式は「20160927000000-20160927235959.csv」のようになります。
(「5.1.3」項)	(※対象期間の「開始日時-終了日時.csv」という形式の名称になります。)
	「指定期間(1 日単位)」「指定データ項目」のデータをIoT クラウド Standardのデータサー
	バ上から削除します。
(「3.1.4」項)	(※「データを削除する」にチェックを付けると、「データ削除」ボタンが受け付けられます。)
CSV	計測データの CSV ファイルを作成し、データサーバにインポートする機能です。
インポート	ダウンロードした CSV ファイルのデータ形式と異なります。(※「ダウンロード後にデータ
(「5.1.5」項)	削除し、後からそのままインポートし直す」ような使い方としては利用できません。)

5.1.1 記録データのリスト表示

「リスト」形式の条件で「データ表示」ボタンをクリックしますと、選択したデータ(選択期間)を以下の構成で表示します。(縦スクロールで、データの時間帯を切替えできます。)

データ照会条件を調	定してください。							
表示期間	2016年09月 🔻	27日(火) 🔻	0時台 🔻 から	2016年09月	27日(火)	▼ 23時台 ▼	まで (削除は一日単位で行われます。	0時台~23時台を選択して下さい。)
表示データ	全選択 全解除	▼雨量	▼ 気圧	☑ 温度 [✔ 温度	V DI1	「停電監視	
表示形式 データ表示	JZF ▼		CSVダウンロード	l				🔲 データを削除する 🛛 データ削除
	雨量	気圧	温度	浸度	DI1	停套監視		
測定日時	(mm)	(hPa)	(°C)	(%RH)	0	0		
2016/09/27 23:50:0	0 6.1	1,017.0	31.0	23.7	OFF	通電	*	
2016/09/27 23:40:0	0 5.9	1,016.9	30.9	23.5	OFF	通電		
2016/09/27 23:30:0	0 5.8	1,016.8	30.8	23.4	OFF	通電	E	
2016/09/27 23:20:0	0 5.7	1,016.7	30.7	23.3	OFF	通電		
(já	中省略〉							
2016/09/27 00:10:0	0 2.8	1,018.7	33.4	24.8	OFF	通電		
2016/09/27 00:00:0	0 2.9	1,018.8	33.5	24.9	OFF	通電	•	

5.1.2 記録データのグラフ表示

「グラフ」形式で「データ表示」ボタンをクリックしますと、選択したデータ(選択期間)を以下の構成でグラフ表示します。



※サマリー画面(「4」項参照)のグラフと同じ形式で表示します。

5.1.3 CSV ファイルのダウンロードと、ファイル内容の形式

「CSV ダウンロード」ボタンをクリックしますと、以下のような確認 Window が表示されます。

20160627000000-20160627235959.csv を開く	
次のファイルを開こうとしています:	選択した期間を意味
🐴 20160627000000-20160627235959.csv 🛛 🔸	するファイル名形式に
ファイルの種類: Microsoft Excel CSV ファイル	なります。
ファイルの場所: https://logger.m2m-cloud-std.kddi.ne.jp	
このファイルをどのように処理するか選んでください	
⑦ プログラムで開く(Q): Microsoft Excel (既定)	
◎ ファイルを保存する(5)	
□ 今後この種類のファイルは同様に処理する(A)	
OK キャンセル	

以下のような形式の「計測データ格納ファイル(選択した期間/データ項目)」をダウンロードできます。

日時, 温度(temp), 湿度(%), CO2(ppm), 水位(m), 停電監視(), 入場者数(human), 流入量 PI(0.5s)(m3), 放流量 PI(0.75s)(m3), 累積 PI(1s)(-), 累積 PI(2s)(-), 累積 PI(4s)(-), DI7(), DI8(), DI9(), DI10()
2016/06/27 09:37:35, 23. 7, 45. 0, 506. 0, 107, "通電", 4, 0. 0, 0. 00, 59968. 0, 57615. 0, 8806. 0, "0FF", "0FF", "0FF", "0FF"
2016/06/27 09:35:35,23.9,45.1,510.0,107, "通電",0,0.0,0.00,59968.0,57615.0,8806.0, "0FF", "0FF", "0FF", "0FF"
2016/06/27 09:33:35,23.9,46.0,488.0,107,"通電",0,0.0,0.00,59968.0,57615.0,8806.0,"0FF","0FF","0FF","0FF"
: (※途中省略)
2016/06/27 00:05:38, 25. 3, 52. 0, 180. 0, 107, "通電", 0, 120. 0, 120. 00, 47481. 6, 49811. 0, 4904. 0, "OFF", "OFF", "OFF", "OFF"
2016/06/27 00:03:38, 25. 3, 52. 0, 183. 0, 107, "通電", 0, 120. 0, 120. 00, 47433. 6, 49781. 0, 4889. 0, "OFF", "OFF", "OFF", "OFF"
2016/06/27 00:01:38,25.3,52.0,180.0,107,"通電",0,120.0,120.00,47385.6,49751.0,4874.0,"0FF","0FF","0FF","0FF"
● カンマで各データを区切った CSV 形式です。
● 1 行目は、タイトル行になります。(日時と、選択したデータ項目が続きます。括弧内は単位です。)
(※上記は、本資料に記載する都合により途中で折り返していますが、1 行です。)
● 2 行目以降に、日時と各データ項目の値から成るデータ行が続きます。
(※テキスト変換の仮想データ項目については、ダブルコーテーション("")で囲みます。)
● DMA-T2Kから upload する計測データは、必ず全ての項目を含んでいるわけではありません。
(全ての項目を含まない upload 条件があります。)
この場合、ダウンロードされるデータ行は、下記のようにカンマが続く形式になります。
2016/06/24 16:18:12"停電"((※カンマの数は固定)
 ● 上記までの説明(例)は DMA-T2Kからupload する全計測データ(15 項目)を対象とした内容にた
します
「5.1」項の画面にあるとおり、対象とするデータ項目を個別に選択(チェック)できますので、実際に
ダウンロードされる内容は「日時、選択したデータ項目」となります。
以下は、「5.1」項の画面において「雨量」「温度」のみを対象データとして選択した場合の例です。
日時,雨量(mm),温度(°C)
2016/09/27 23:50:00. 6. 1. 31. 0
2016/09/27 23:40:00, 5, 9, 30, 9
(※以降省略)

5.1.4 記録データの削除と、削除後の表示内容

IoT クラウド Standardのデータサーバに保存済みのデータ項目を削除することができます。 (※1 日単位で対象期間と対象データ項目を選択し、削除します。)

●「データ削除」をクリックした場合、以下の実施確認画面が表示されます。

表示期間 2016年06月 💌 26日(日) 台を選択して下さい。)	▼ 0時台 ▼ から 2016年06月 ▼ 26日(日) ▼ 23時台	▼ まで (削除は一日単位で行われます。0時台〜23時
表示データ 全選択 全解除 V 温度 V 放流量; V D110	⑦ 湿束 ⑦ CO2 ⑦ 水位 停電監視 PI(0.755) ⑦ 累積PI(15) ⑦ 累積PI(25) ◎ 累積PI(45) ⑦ D17	 ▼入場名数 ▼ 流入量PI(0.5s) □ DI8 ▼ DI9
表示形式 リスト ▼ CSVダ データ表示	ウンロード	データを削除する データ間除
	表示来行られたしている」 一次合称がら しもようしい ビタか ? 削除したデータば復元出来ません。	
	OK キャンセル	

● 1日分の全データ(表示データ=全選択)を削除した場合、以下のように当該日時のデータが無い 状態になります。(※以下は、[2016/06/26]のデータ項目を全て削除した場合の例)

表示形式 Uスト ▼ CSVダウンロード データ表示							
測定日時	温度 (temp)	湿度 (%)	CO2 (ppm)	水位 (m)	停電監視 ()		
2016/06/27 00:07:38	25.3	52.0	178.0	107	通電		
2016/06/27 00:05:38	25.3	52.0	180.0	107	通電		
2016/06/27 00:03:38	25.3	52.0	183.0	107	通電		
2016/06/27 00:01:38	25.3	[2016/06/2	25]の次は、[20 ⁻	16/06/27]のデ・	ータ 通電		
2018/08/25 23:59:45	25.5	(※[2016/0	06/26]のデータ	1日分を削除)	通電		
2018/08/25 23:57:45	25.5	52.4	92.0	107	通電		

対象日のデータを部分的に削除した場合、削除したデータ項目部分のみが無い状態になります。
 (※以下は、[2016/06/26]のデータ項目の一部を削除した場合の例)

表示形式 リ. データ表示	zト ▼		CSVダウンロード	 一 こ	部分的に削除			
测定日時	温度	湿度	CO2	水位	停電監視			
MATE THAT	(temp)	(%)	(ppm)	(m)	0			
2016/06/27 00:05:38	25.3	52.0	180.0	107	通電			
2016/06/27 00:03:38	25.3	52.0	183.0	107	通電			
2016/06/27 00:01:38	25.3	52.0	180.0	107	通電			
2016/06/26 23:59:38					通電			
2016/06/26 23:57:38					通電			

5.1.5 CSV インポート機能と、データの形式

計測データの CSV ファイルを作成し、IoT クラウド Standardのデータサーバに手動でインポート (upload)することができます。

- CSV ダウンロードしたファイルの形式と異なります。(「5.1.3」項参照)
 (※ダウンロードしたファイルをそのままインポートすることはできません。)
- 画面右上の「CSV インポート」をクリックしますと、以下の画面に切り替わります。

をす。 🐨 <u>CSVインボー</u>	-
----------------------	---

CSVファイルをアップロードしてください。	
参照 ファイルが選択されていません。 アップロード 戻る	対象ファイルの選択と、 「アップロード」実行を操作
アップロード出来るcsvは1MB以内です。 同じ時分秒のデータは上書きされます。 CSVファイルのフォーマットはヘッダー有り、ヘッダー無しどちらとも対応しています。 ヘッダー有りの場合は、先頭のカラムは「data_dt」としてください。	
サンプル1 date_dt,no0,no1,no2,no3,no4,no5,no6,no7,no8,no9,no10,no11,no12,no13,no14,no15,no16,no17,no 2016/3/15 0:00,11111,22222,33333,44444,55555,666666,77777,88888,99999,10101,11111,12121, 2016/3/15 0:01,11111,22222,33333,44444,55555,666666,77777,888888,99999,10101,11111,12121,	18,no19 3131,14141,15151,16161,17171,18181,19191,20202 3131,14141,15151,16161,17171,18181,19191,20202
サンプル2 2016/3/15 0:00,11111,22222,33333 2016/3/15 0:01,11111,22222,33333 の形式に関する	
サンプル3 no1のセンサーにだけ投入する場合 2016/3/15 0:00,,22222 2016/3/15 0:01,,22222	
インポート待ちデータ	[]
アップロード日時 レコード数 ステータス	- アップロード実施情報を表示

● CSV インポート用のファイルは、次のような形式となります。

ファイル名	(※ファイル名は任意。拡張子を「csv」にする。)
ファイル内容	date_dt, no0, no1, no2, no3, no4, no5, no6, no7, no8, no9, no10, no11, no12, no13, no14
(※2 行目以	2016/6/26 12:00, 180. 0, 25. 3, 52. 0, 107, 0, 15, 120, 80, 50000, 40000, 3500, 0, 1, 0, 0
降は例)	2016/6/26 12:01, 180. 1, 25. 4, 51. 9, 107, 0, 12, 120, 80, 50048, 40030, 3515, 0, 0, 0, 0

- ※1 行目はヘッダを表します。(上記固定文字の形式になります。⇒「日時」「計測データ(複数個)」) DMA-T2Kから upload する「計測データ項目数=15 項目(「3.1」項参照)」に合わせます。
- ※2 行目以降は計測データ行を表します。工業値を記載します。(データの順は、「3.1(4)」項参照) CSV インポートの場合、工業値変換(※IoT クラウド Standard上での「重み」「シフト量」に基づく演算) は実施されません。
- ※1 行目のヘッダ行を無しとする形式でも受け付けられます。
- ※「日時」「計測データ(15項目)」について、「計測データ項目の先頭~n個(15個未満)まで」の記載内容でも受け付けられます。(途中に upload しないデータが含まれる場合、カンマを続けます。)
- 作成した CSV ファイルを upload しますと、記録データとして参照できるようになります。

(※以下は、[2016/06/26]のデータ1日分を削除した後に、上記ファイルをuploadした場合の例です。)

測定日時	温度	湿度	C02	水位	停電監視	入場者数	流入量PI(0.5s)	放流量 PI(0.75s)
	(temp)	(%)	(ppm)	(m)	0	(human)	(m3)	(m3)
2016/08/27 00:03:38	25.3	52.0	183.0	107	通電	0	120.0	120.00
2016/06/27 00:01:38	25.3	52.0	180.0	107	通電	0	120.0	120.00
2016/06/26 12:01:00	25.4	51.9	180.1	107	通電	12	120.0	80.00
2016/06/26 12:00:00	25.3	52.0	180.0	107	通電	15	120.0	80.00
2016/08/25 23:59:45	25.5	52.3	92.0	107	通電	0	120.0	120.00

5.2 メッセージイベントの履歴

「メッセージ」タブをクリックしますと、以下の構成の画面が表示されます。(メッセージ情報は例)

Designing The Future				≵ ●●● 様 :	≣
שלע שלי) — I	記録データ メッセージ 設定	端末一覧	レポート	
メッセージ DMA-T2K		DMA-T2Kからupload		警報データの通知No.に割り当てた	
直近30日間に受信した端末メッ	セージです	した警報データ情報		通知メールの件名(「3.5.2」項参照)	
日時	通知NO	通知メッセージ		イベントメールタイトル	
2016/06/16 09:15:49	5	501		DMA-T2K AI1(CO2)下限復帰検出	
2016/06/15 23:15:29	4	299		DMA-T2K AI1(CO2)下限異常検出	
2016/06/15 19:36:03	51	OFF		DMA-T2K DI10 OFF	
2016/06/15 19:22:43	53	power recovery		DMA-T2K 復電検出	
2016/06/15 19:17:41	52	power failure		DMA-T2K 停電検出	
2016/06/15 19:12:39	50	ON		DMA-T2K DI10 ON	

- DMA-T2Kから upload した警報データの「通知№」「メッセージ」情報が履歴として表示されます。 (※警報データの内容については、「3.5」項参照)
- 最新の警報データから 30 日以内までのデータが表示されます。
- 100 件を超える場合、画面左下に「次の 100 件を表示」リンクが表示されます。

6 帳票出力

「レポート」タブをクリックしますと、帳票出力用の画面が表示されます。

「日報」「月報」の EXCEL ファイルを出力させることができます。(「日報」「月報」の何れかを選択します。)

Designing The Future 流末一覧 レポート	2	●●●様	Ξ
幅票出力			
端末グループ毎に帳票を出力できます。帳票種別は日報/月報から選択できます。			

● 操作方法については、以下の項をご参照ください。

対象とする帳票	説明項
日報ファイル	6.1
月報ファイル	6.2

6.1 日報ファイルの出力

「日報」を選んだ状態で「選択」ボタンをクリックしますと、以下の構成の画面が表示されます。

Designing The Future	端末一點				*	•••	様	Ξ
帳票出力	10/15 35							
端末グループ:デフ	ォルト端末グルーフ	プの 日報 テンプレ	ートを選択して下さい					
テンプレート	新規作成 🔽 🔀	訳良る						
×	規作成 スト用							

- 日報のテンプレートファイルを選択します。
- 後述するテンプレート編集内容の「保存」を行うと、テンプレートの選択リストに追加されます。 (※上記は、「テスト用」というテンプレートを保存した場合の例です。)
- 操作する内容に応じて、以下の項をご参照ください。

操作する内容	説明項
日報ファイルの出力操作(編集済みテンプレートに基づく出力)	6.1.1
日報テンプレートの新規設定	6.1.2

6.1.1 編集済みテンプレートに基づく日報ファイルの出力

対象日を設定し、「EXCEL 出力」ボタンをクリックします。(※以下は「テスト用」というテンプレートの例)

Designing The Future	端末一覧	レポート					\$	●●●様 ⊟
帳票出力								
端末グループ 対象期間と項目 対象日	デフォルト端末グル を選択して、帳票を: 2016/09/27	レープ の 日報 出力します。 から 2016/09/27	EXCEL出力 戻る]←	対象日 「EXCE		ミし、 」」ボタン	
表示・テンプ	レート設定 容を指定します。 戦な	芝内容はテンプレートとし	て保存できます。		をクリッ	ックしま	:す。	
岐美山カテン。	ノレート 名称				1¥存 日作	 すは、カ	、 】 レンダー表	
サブタイトル	頁目名					2016/09/2	27 から 2016年 9月	2016/09/27
サブタイトル	百日夕	雨量記録				日月	火水木 1	金 土 2 3 ≤
日付フォーマン	y h		▼ XX:XX ▼			4 5 11 12 18 19	6 7 8 13 14 15 20 21 22	9 10 16 17 23 24
表示項目設定 出力対象のデー	夕項目の指定と出力に	こ関する設定を行います。				25 26	27 28 29	30
端末名	項目名	表示項目名			表示単位	I	集計方法	
DMA-T2K		DMA-T2K:兩量			mm		合計 💌	□非表示
 ダウンI ダウンI 	コード開始の 帳票をダウンロー OK		示されます。([OK]をクリッ?		。))	<i>+ 6</i> 116	
JP1 daily2010	/休仔の催説 60927-20160927	ミワイントワかる .xlsx を開く		処理形式を	選択して	、[OK]	をクリック	します。)
次のフ 図 d こ このフ の の	アイルを開こうとし aily20160927-2 クァイルの種類: Mic ファイルの場所: htt ファイルをどのよう プログラムで開く ファイルを保存す 今後この種類のフ	っています: 0160927.xlsx ← crosoft Excel ワークシ cps://logger.m2m-clo に処理するか選んでく; (Q): Microsoft Exce る(<u>S</u>) アイルは同様に処理す	νート (8.0 KB) ud-std.kddi.ne.jp ださい ■ (既定) ■ (((氏)	「 ₀ 成	daily」と「 えるファイ	対象日	」から 注	
			OK キャンセル					

(40ページ)

● 以下の形式の EXCEL ファイルが出力されます。(※項目名や値は例です。)

A	В	С	D	E	F	(G	Н
1								
2	雨量日報						٥.	
3						テン.	<i>n</i> –	トで設定し
4	八尾市	雨量記録				タイト	ルやコ	項目名
5	雨量	2016/09/27			<u> </u>			
6								
7	時刻	DMA-T2K:雨量	DMA-T2K:気圧	DMA-T2K:湿度	DMA-T2K:温度	-	対象	ミデータ項
8		合計:mm	合計:hPa	平均:℃	平均:%RH	-	集計	+方法と単
9	(0:00	16.6	6,111.3	33.2	24.7		~	
10	1:00	19.0	6,106.7	32.3	24.2			
11	2:00	33.7	6,099.3	30.6	23.2	1		
12	3:00	37.7	6,102.9	31.2	23.8			
13	4:00	39.7	6,106.4	31.8	24.3			
14	5:00	29.7	6,108.9	32.5	24.5			
15	6:00	17.3	6,111.3	33.1	24.8			
16	7:00	12.1	6,114.4	33.7	25.3			
17	8:00	14.5	6,115.8	34.0	25.5			
18	9:00	17.9	6,114.8	33.8	25.3			
10	10:00	17.1	6,112.5	33.4	24.9			
間毎の	11:00	16.1	6,109.2	32.8	24.5			
+データ	12:00	30.5	6,100.0	30.8	23.2			
	13:00	36.1	6,101.7	31.0	23.6			
23	14:00	40.1	6,105.3	31.6	24.1			
24	15:00	34.2	6,108.2	32.2	24.4			
25	16:00	20.7	6,110.3	32.9	24.6			
26	17:00	12.9	6,113.5	33.5	25.2			
27	18:00	13.1	6,115.6	33.9	25.5			
28	19:00	17.3	6,115.3	33.9	25.4			
29	20:00	17.6	6,113.5	33.6	25.0			
30	21:00	16.1	6,110.2	33.0	24.6			
31	22:00	24.8	6,103.0	31.5	23.7			
32	23:00	34.7	6,100.5	30.8	23.4			
33	最大	40.1	6,115.8	34.0	25.5	1		
34	最小	12.1	6,099.3	30.6	23.2			
35	平均	23.7		15	24.5	1		
36	合計	569.5	複数の対象	▶日を設定 ┣	587.5			
• • • • • • 20	160927		した場合	1日毎の 🗎		-		
	100021							

6.1.2 日報テンプレートの新規設定

「新規作成」の場合、「内容未入力」「デフォルト条件」の画面が表示されます。(表示項目の内容は例)

Designing The Future					.
KDDi	端末一覧	レポート			
帳票出力					
端末グループ 対象期間と項目	端末グループ1 の Iを選択して、帳票を)日報 を出力します。			名称を付けて「保存」
対象日	2016/10/20	から 2016/10/20 EXCEL出力 戻る			すると、「6.1」頃のテンプレート選択リストの
表示・テンプ	レート設定				候補に出てさます。
帳票 の出力に 	谷を指定します。 プレート 名称	は定内容はテノノレートとして味仔できます。		保存	
				$\overline{}$	
タイトル					日報 EXCEL ファイル
サブタイトル	真目名				内の冒頭に格納する タイトル関連の情報を
デーク抽出日	百日夕				設定します。 (※格納先については
日付フォーマン	уŀ	xxxxx • xx:xx •			「6.1.1」項参照)
				J	
表示項目設定 出力対象のデー	・夕項目の指定と出け	りに関する設定を行います。			
端末名	項目名	表示項目名		表示単位	集計方法
DMA-T2K	10	DMA-T2K:雨量]	mm	合計 ▼ □非表示
DMA-T2K	気圧	DMA-T2K:氛圧		hPa	
DMA-T2K	温度	DMA-T2K:温度]	°C	合計 💌 🛛 非表示
DMA-T2K	温度	DMA-T2K:温度]	%RH	合計 💌 🛛 非表示
DMA-T2K	通電情報	DMA-T2K:通電情報		-	合計 🗨 🛛 非表示
		<u> </u>			Ť
「計測ラ 日報フラ	^デ ータ(15 個 ァイルで表示])」「仮想データ」項目が全て一覧 示する項目名と単位を編集できま	記表示されます。 さ。		集計方法を選択し、日報に 出力しない項目は「非表示」 をチェックします。
●「集計ス	方法」として	、以下の何れかを選択できます	け。(※1 時間	L 単位の [·]	データ集計方法)
合計					
平均 最大 星山		※「正時」は、「XX 時 0 分」タイミ	ミングのデータを	意味し	ます。
展小 正時					
●「保存」 テンプ (※表	ボタンをク レートとして 示される確認	リックしますと、編集した内容が 「保存されます。 認画面で[OK]をクリックします。	、 下記内容 [。]	でテンプレー	トを保存します。よろしいですか?
					OK キャンセル

6.2 月報ファイルの出力

「月報」を選んだ状態で「選択」ボタンをクリックしますと、以下の構成の画面が表示されます。(「6」項参照)

Designing The Future	2	●●●様	∷≣
端末一覧 レポート			
幅票出力			
端末グループ:デフォルト端末グループ の 月報 テンプレートを選択して下さい			
テンプレート 新規作成 第 規作成 選択 戻る			
新規作成 デスト2			

- 月報のテンプレートファイルを選択します。
- 後述するテンプレート編集内容の「保存」を行うと、テンプレートの選択リストに追加されます。
 (※上記は、「テスト 2」というテンプレートを保存した場合の例です。)
- 操作する内容に応じて、以下の項をご参照ください。

操作する内容	説明項
月報ファイルの出力操作(編集済みテンプレートに基づく出力)	6.2.1
月報テンプレートの新規設定	6.2.2

6.2.1 編集済みテンプレートに基づく月報ファイルの出力

対象日を設定し、「EXCEL 出力」ボタンをクリックします。(※以下は「テスト 2」というテンプレートの例)

Designing The Future	端末一覧	レポート					*			●様
《票出力										
端末グループ	デフォルト端末グ	ループ の 月報								
対象期間と項目	iを選択して、帳票を	出力します。	対象	日(期	問):	を設	(定)			
対象日	2016/09/01	から 2016/09/30 EXCEL出力 戻る	FEXC	EL H	נד <u>ו</u>	ボタ	いた	F		
			クリッ	っしま	す。			-		
E= . =>.≁I	1. 人现安									
調べの出力内	レート設た 客を指定します。誤	定内容はテンプレートとして保存できます。								
			n+		ì					
限票両刀テン。	ノレート名称	72.52	1未存							
				日付は	.、 カ	レン	ダー	表示	下から	う選れ
タイトル		雨量月報		201	5/09/3	30		EXCE	ミモン	E
サブタイトルス	夏国名	八尾市		0		201	6年 9	9月		0
サゴタイトル		TTT	I	в	月	ж	ж	木	金	±
9794196		MJ 26 L 3K		1				1	2	3
データ抽出日耳	真目名			4	- 5	6	7	8	9	10
	v h			11	12	13	14	15	16	17
- N - N - N - N - N - N - N - N - N - N	215			18	19	20	21	22	23	24
				25	26	27	28	29	30	
長示項目設定			<u> </u>							
出力対象のデー ****** ~	·夕項目の指定と出力	に関する設定を行います。		betw.						
端末名	填曰名	衣木県日名	表示単	Ω.	栗	竹活法				
DMA-T2K		DMA-T2K:雨量	mm		1	ast	-		∎ş	表示

(43ページ)

● ダウンロード開始の確認画面が表示されます。([OK]をクリックします。)



● ファイル保存の確認ウィンドウが表示されます。(処理形式を選択して、[OK]をクリックします。)



● 以下の形式の EXCEL ファイルが出力されます。(※項目名や値は例です。)

4	A	В	С	D	E	F	G	Н
1								
2		雨量月報)		
3						ー し テン	プレートで	設定した
4		八尾市	雨量記録			<u> </u>	トルや項目	名
5			2016/09/01から20	16/09/30				
6								
7		日付	DMA-T2K:雨量	DMA-T2K:気圧	DMA-T2K:温度	DMA-T2K:温度	◆ 対象	データ項目
8			合計:mm	合計:hPa	平均:℃	平均:%RH	🗲 集計	方法と単位
9	(09/01(木)	39.0	154,280.3	33.2	24.1		
10		09/02(金)	6.4	157,576.6	33.3	23.9		
11		09/03(土)	0.0	165,349.1	33.5	23.7		
10		09/04(日)	0.0	163,804.4	33.4	23.6		
1 E	3毎	09/05(月)	0.0	159,125.5	33.2	23.7		
の	集計	09/06(火)	0.0	157,411.6	33.0	23.8		
デ-	-2	09/07 (水)	39.1	155,663.2	32.8	24.1		
	<u> </u>	09/08(木)	182.4	149,834.3	32.6	24.4		
. –		/ < 诠中	省略> 100 5	150,000,0				
37		09/29(木)	109.1	158,824.0	31.2	24.2		
38		09/30(金)	56.2	160,174.3	30.9	24.0		
40		最大	569.5	170,255.9	33.5	24.7		
41		最小	0.0	146,610.6	30.9	23.6		
42		平均	91.2	157,809.0	32.9	24.0		
43		合計	2,736.1	4,734,269.6	986.8	721.0		
44 14 4	▶ ▶ Shee	t1 / 🞾						

6.2.2 月報テンプレートの新規設定

「新規作成」の場合、「内容未入力」「デフォルト条件」の画面が表示されます。(表示項目の内容は例)

Designing The Future	端末一覧				↓ ●●●様 ⊟					
帳票出力										
端末グループ 対象期間と項目	端末グループ1 0 地を選択して、帳票)月報 を出力します。			名称を付けて「保存」					
対象日	2016/10/20	から 2016/10/20 EXCEL出力	戻る		プレート選択リストの					
表示・テンプ	レート設定				候補に出てきます。					
帳票への出力内	n容を指定します。	没定内容はテンプレートとして保存できます。								
帳票出力テン?	プレート 名称			保存						
タイトル サブタイトル	項目名				月報 EXCEL ファイル 内の冒頭に格納する タイトル関連の情報を					
サブタイトル					設定します。					
データ抽出日)	頃目名		_		(※格納先については「621」(項参昭)					
日付フォーマ	ット	XXXXX/XX/XX • XX:XX •	r		10.2.1]枳穸照/					
表示項目設定 出力対象のデー	-夕項目の指定と出;	力に関する設定を行います。								
端末名	項目名	表示項目名		表示単位	集計方法					
DMA-T2K	雨量	DMA-T2K:兩量		mm						
DMA-T2K	気圧	DMA-T2K:気圧		hPa						
DMA-T2K	温度	DMA-T2K:温度		C	合計 🗨 🔤 非表示					
DMA-T2K	温度	DMA-T2K:温度		%RH	合計 🗨 🔤 非表示					
DMA-T2K	通電情報	DMA-T2K:通電情報		-						
「計測う 月報フ	データ(15 個 アイルで表す])」「仮想データ」項目が全て- 示する項目名と単位を編集でき	↑ -覧表示されま きます。	ξ φ .	◆ 集計方法を選択し、月報に 出力しない項目は「非表示」 をチェックします。					
▶ 「集計: 合計 合計 予均 是大 是小		、以下の何れかを選択でき ※「正時」は、「0 時 0 分」タイ	ます。(※1 E バングのデータ	1単位のデ タを意味しる	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
^{正時} 「保存」 テンプ (※表	」 ボタンをク レートとして 示される確	リックしますと、編集した内容 「保存されます。 認画面で[OK]をクリックしま ⁻	序が す。)	2内容でテンプレ・	ートを保存します。よろしいですか? OK キャンセル					

7 改訂履歴

版数	変更日	変更内容
1.00	2016/07/01	初版発行
1.01	2016/10/20	 [2項][3.2項] 仮想データ項目の選択範囲に「データレンジフィルター」を追加 [3項] アカウント(権限)の種類説明を追加 [3項] ポータル画面のレイアウト変更(画面上部のタブ変更(※他画面も同様)) ユーザ権限でのログイン時に表示されないタブ内容の説明を追加 [3.3項] 表示設定画面のレイアウト変更 (設定項目追加、データ項目表示をまとめて切り替える I/F 追加、地図説明削除) [3.4.2項] 警戒線イベント設定画面のレイアウト変更 (共通および個別の一時停止機能追加) [3.5.2項] メッセージイベント設定画面のレイアウト変更 (共通および個別の一時停止機能追加) [3.6項] ユーザアカウント設定の説明項を追加 [3.7項] 端末情報・端末グループ編集方法の説明項を追加 [4.1項] 表示動作変更画面の条件選択範囲拡張([3分][任意の色]の選択追加) [5.1.3項] 計測データ CSV ダウンロードの対象項目絞り込み時の説明を追加 [5.2項] メッセージ画面で警報データが 100 件を超える場合の表示説明を追加 [全般] 画面を差し替え(説明文追加、情報表示追加等あり)
1.02	2016/11/21	 ● [表紙]「M2M クラウドサービス(Standard 版)」→「IoT クラウド Standard」に変更 [全般] 説明内容についても「IoT クラウド Standard」に変更 [3 項] ログイン画面変更(タイトルが「IoT クラウド Standard」に変更) ● [3.1 項] 認証用パスワードは半角英数字で設定する旨を追記(ハイフンなど不可)